

出土遺物観察表（8）

三の丸地区⑧

調査番号	種別	位置 (方位)	長さ (g)	出土場所	備考
477	銅板	4以上	2.8	1 赤土	
478	銅板	2.5以上	2.2	1.2 赤土	
479	銅板	3以上	1.5	1.1 D1・1T 盛土層	
475	銅板	4.2	2.2	0.8 D1・2T 盛土層	
476	銅板	3.6	1.7	1.3 C1 赤土	
477	銅板	6	3.1	3.2 C2 盛土層	
478	銅板	5	4	3.9 C2 盛土層	
479	銅板	4.2	3.8	1.8 C1 赤土	
480	銅板	1.8	1.2	0.6 D2 盛土層	
481	銅板	2.8	1.8	0.6 D2	

調査番号	種別	位置 (方位)	長さ (g)	出土場所	備考
482	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
483	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
484	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
485	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
486	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
487	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
488	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
489	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
490	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
491	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
492	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
493	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
494	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
495	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
496	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
497	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
498	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
499	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
500	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
501	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
502	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
503	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
504	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
505	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
506	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
507	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
508	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
509	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
510	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
511	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
512	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
513	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
514	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
515	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
516	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
517	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
518	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
519	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
520	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	

調査番号	種別	位置 (方位)	長さ (g)	出土場所	備考
521	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
522	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
523	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
524	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
525	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
526	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
527	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
528	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
529	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
530	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
531	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
532	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
533	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	

出土遺物観察表（9）

三の丸地区⑨

調査番号	種別	位置 (方位)	長さ (g)	出土場所	備考
534	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
535	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
536	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
537	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
538	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
539	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
540	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	

調査番号	種別	位置 (方位)	長さ (g)	出土場所	備考
541	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
542	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
543	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
544	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
545	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
546	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
547	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
548	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
549	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
550	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
551	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
552	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
553	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
554	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
555	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	

調査番号	種別	位置 (方位)	長さ (g)	出土場所	備考
556	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
557	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
558	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
559	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
560	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
561	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
562	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
563	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
564	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
565	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
566	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
567	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
568	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
569	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
570	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
571	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
572	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
573	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
574	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
575	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
576	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
577	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
578	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
579	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
580	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
581	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
582	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
583	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
584	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
585	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
586	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
587	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
588	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
589	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
590	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
591	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
592	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
593	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
594	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
595	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
596	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
597	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
598	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
599	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
600	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
601	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	
602	銅板	2.5以上	2.2	1 赤土	

出土遺物観察表 (10)

三の丸地区⑩

図面番号	番号	種類	横径 (cm)	中径 (cm)	厚さ (cm)	出土場所	資料	備考
第83区	603	打製石斧	6.3	4.4	1.4	C1	黒色土層	
	604	打製石斧	7.7	6.1	3.3	黒色土層	黒色土層	
	605	打製石斧	5.8以上	4.4	1.7	A2	黒色土層	
	606	打製石斧	5.6以上	3.8	1.2	B5 黄土	黒色土層	
	607	打製石斧	6.6以上	4.5	1.4	A4	黒色土層	
	608	打製石斧	6.1以上	6	2.7	C4 黄土	黒色土層	
	609	石鏃	3.1	2	0.7	A5 黄土	黒色土層	
	610	打製石斧・火打石片	2.5	1.9	1	黄土	チャート	
	611	打製石斧	5.4以上	3.8	1.9	A4	黒色土層	
	612	打製石斧	5.4	4.5	1.6	黄土	炭化遺物	
	613	打製石斧	4.6	6	1.4	C4 黄土	黒色土層	

二の丸地区①

図面番号	番号	種類	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	産地	出土場所	備考
第84区	1	黄土・黒	13.9			中国	白土層	
	2	黄土・黒				中国	白土層	
	3	黄土・黒				中国	白土層	
	4	黄土・黒				中国	白土層	
	5	黄土・黒				中国	白土層	
	6	黄土・黒				中国	白土層	
	7	黄土・黒				中国	白土層	
	8	黄土・黒				中国	白土層	
	9	黄土・黒				中国	白土層	
	10	黄土・黒				中国	白土層	
	11	黄土・黒				中国	白土層	
	12	黄土・黒				中国	白土層	
第85区	13	黄土・黒				中国	白土層	
	14	黄土・黒				中国	白土層	
	15	黄土・黒				中国	白土層	
	16	黄土・黒				中国	白土層	
	17	黄土・黒				中国	白土層	
	18	黄土・黒				中国	白土層	
	19	黄土・黒				中国	白土層	
	20	黄土・黒				中国	白土層	
	21	黄土・黒				中国	白土層	
	22	黄土・黒				中国	白土層	
	23	黄土・黒				中国	白土層	
第86区	24	黄土・黒				中国	白土層	
	25	黄土・黒				中国	白土層	
	26	黄土・黒				中国	白土層	
	27	黄土・黒				中国	白土層	
	28	黄土・黒				中国	白土層	
	29	黄土・黒				中国	白土層	
	30	黄土・黒				中国	白土層	
	31	黄土・黒				中国	白土層	
	32	黄土・黒				中国	白土層	
	33	黄土・黒				中国	白土層	
	34	黄土・黒				中国	白土層	
	35	黄土・黒				中国	白土層	
第87区	36	黄土・黒				中国	白土層	
	37	黄土・黒				中国	白土層	
	38	黄土・黒				中国	白土層	
	39	黄土・黒				中国	白土層	
	40	黄土・黒				中国	白土層	
	41	黄土・黒				中国	白土層	
	42	黄土・黒				中国	白土層	
	43	黄土・黒				中国	白土層	
	44	黄土・黒				中国	白土層	
	45	黄土・黒				中国	白土層	
	46	黄土・黒				中国	白土層	
	47	黄土・黒				中国	白土層	
第88区	48	黄土・黒				中国	白土層	
	49	黄土・黒				中国	白土層	
	50	黄土・黒				中国	白土層	
	51	黄土・黒				中国	白土層	
	52	黄土・黒				中国	白土層	
	53	黄土・黒				中国	白土層	
	54	黄土・黒				中国	白土層	
	55	黄土・黒				中国	白土層	
	56	黄土・黒				中国	白土層	
	57	黄土・黒				中国	白土層	
	58	黄土・黒				中国	白土層	

出土遺物観察表 (11)

二の丸地区②

第89区	59	黄土・黒				中国	白土層	
	60	黄土・黒				中国	白土層	
	61	黄土・黒				中国	白土層	
	62	黄土・黒	11.6	6.6	2.5	中国	白土層	
	63	黄土・黒	11.4	7.2	2.3	中国	白土層	
	64	黄土・黒				中国	白土層	
	65	黄土・黒				中国	白土層	
	66	黄土・黒				中国	白土層	
	67	黄土・黒				中国	白土層	
	68	黄土・黒				中国	白土層	
	69	黄土・黒				中国	白土層	
	70	黄土・黒				中国	白土層	
第90区	71	黄土・黒				中国	白土層	
	72	黄土・黒				中国	白土層	
	73	黄土・黒				中国	白土層	
	74	黄土・黒				中国	白土層	
	75	黄土・黒				中国	白土層	
	76	黄土・黒				中国	白土層	
	77	黄土・黒				中国	白土層	
	78	黄土・黒				中国	白土層	
	79	黄土・黒				中国	白土層	
	80	黄土・黒				中国	白土層	
	81	黄土・黒				中国	白土層	
	82	黄土・黒				中国	白土層	
第91区	83	黄土・黒				中国	白土層	
	84	黄土・黒				中国	白土層	
	85	黄土・黒				中国	白土層	
	86	黄土・黒				中国	白土層	
	87	黄土・黒				中国	白土層	
	88	黄土・黒				中国	白土層	
	89	黄土・黒				中国	白土層	
	90	黄土・黒				中国	白土層	
	91	黄土・黒	9	6	2.1	中国	白土層	
	92	黄土・黒	10	6	2.1	中国	白土層	
	93	黄土・黒	8.4	5	2	中国	白土層	
	94	黄土・黒				中国	白土層	
第92区	95	黄土・黒				中国	白土層	
	96	黄土・黒	11.9	7	3	中国	白土層	
	97	黄土・黒	12.4	8.4	2.7	中国	白土層	
	98	黄土・黒	12	25	7.2	中国	白土層	
	99	黄土・黒				中国	白土層	
	100	黄土・黒	13.2	7	2.5	中国	白土層	
	101	黄土・黒	10.8	6.5	2.1	中国	白土層	
	102	黄土・黒	10.6	6	2.9	中国	白土層	
	103	黄土・黒	28			中国	白土層	
	104	黄土・黒				中国	白土層	
	105	黄土・黒				中国	白土層	
	106	黄土・黒				中国	白土層	
第93区	107	黄土・黒				中国	白土層	
	108	黄土・黒				中国	白土層	
	109	黄土・黒				中国	白土層	
	110	黄土・黒				中国	白土層	
	111	黄土・黒				中国	白土層	
	112	黄土・黒				中国	白土層	
	113	黄土・黒				中国	白土層	
	114	黄土・黒				中国	白土層	
	115	黄土・黒				中国	白土層	
	116	黄土・黒				中国	白土層	
	117	黄土・黒				中国	白土層	
	118	黄土・黒				中国	白土層	
第94区	119	黄土・黒				中国	白土層	
	120	黄土・黒				中国	白土層	
	121	黄土・黒				中国	白土層	

二の丸地区③

第 80 号	132	藤絲	植物	藤類植物、白色、黄色、黄褐色子葉	2017 年 12 月	糸巻すす付、藤笠類
	133	藤	植物	藤類植物、白色、黄色、黄褐色子葉	2017 年 12 月	糸巻すす付、藤笠類
	134	藤	植物	藤類植物、白色、黄色、黄褐色子葉	2017 年 12 月	糸巻すす付、藤笠類
	135	藤	植物	藤類植物、白色、黄色、黄褐色子葉	2017 年 12 月	糸巻すす付、藤笠類
	136	藤	植物	藤類植物、白色、黄色、黄褐色子葉	2017 年 12 月	糸巻すす付、藤笠類
	137	藤	植物	藤類植物、白色、黄色、黄褐色子葉	2017 年 12 月	糸巻すす付、藤笠類
	138	藤	植物	藤類植物、白色、黄色、黄褐色子葉	2017 年 12 月	糸巻すす付、藤笠類
	139	藤	植物	藤類植物、白色、黄色、黄褐色子葉	2017 年 12 月	糸巻すす付、藤笠類
	140	藤	植物	藤類植物、白色、黄色、黄褐色子葉	2017 年 12 月	糸巻すす付、藤笠類
	141	藤	植物	藤類植物、白色、黄色、黄褐色子葉	2017 年 12 月	糸巻すす付、藤笠類
	142	藤	植物	藤類植物、白色、黄色、黄褐色子葉	2017 年 12 月	糸巻すす付、藤笠類
	143	藤	植物	藤類植物、白色、黄色、黄褐色子葉	2017 年 12 月	糸巻すす付、藤笠類
	144	藤	植物	藤類植物、白色、黄色、黄褐色子葉	2017 年 12 月	糸巻すす付、藤笠類
	145	藤	植物	藤類植物、白色、黄色、黄褐色子葉	2017 年 12 月	糸巻すす付、藤笠類

观测站号	型号	量程	精度 (mm)	分辨率 (mm)	臂长 (mm)	臂长精度 (mm)	输出参数	备注
第 7 号	136	短尺	6.8 以上	4.8	3.1	0.2	CCD 干涉量	
	137	短尺	7.5 以上	4	2.9	0.07	CCD 干涉量	
	138	短尺	4.5 以上	2.7	2.7	2	干涉量	
	139	短尺	6.6 以上	2.7	2.1	0.1	干涉量	
	140	短尺	8.0 以上	2.9	1.5	0.1	干涉量	
	141	短尺	8.8 以上	3	2.3	0.1	干涉量	
	142	短尺	4.9	3.9	1.2	0.1	干涉量	
	143	短尺	5.1 以上	2.6 以上	0.5 以上	0.01	干涉量	短尺、垂直面
	144	短尺	2.4	2.2	0.2	0.01	干涉量	短尺、垂直面
	145	短尺	2.4	2.2	0.2	0.01	干涉量	短尺、垂直面
	146	短尺	2.2	1.6	0.7	0.1	干涉量	短尺、垂直面
	147	短尺	2.2	1.6	0.9	0.1	干涉量	短尺、垂直面
	148	干涉式量块	2.1	1.8	1.8	1.8	干涉量	干涉量
	149	干涉式量块	2.2	1.8	0.9	0.03	干涉式量块	干涉式量块
	150	干涉式量块	1.7	2.8	0.9	0.01	干涉式量块	干涉式量块
	151	干涉式量块	2.3	2.2	1.1	0.1	干涉式量块	干涉式量块
152	干涉式量块	1.7	1.2	0.3	0.1	干涉式量块	干涉式量块	
153	干涉式量块	1.7	1.2	0.3	0.1	干涉式量块	干涉式量块	
154	垂直面量块	3.4	3.9 以上	0.4	0.01	垂直面量块	垂直面量块	

図面番号	番号	種別	高さ (cm)	奥行 (cm)	巾 (cm)	四角直径 (cm)	四角高さ (cm)	四角底の直径 (cm)	石材	出土場所	備考
第 87 室	155	磨み石	7.3	14	13.1	8.5	3	1.7	角閃石安山岩	F25V2	
	156	磨み石	8.4						輝石安山岩	F4 遺構	

取掘番号	番号	堆形	長さ (cm)	高さ (cm)	最大径	最小径	石種	出土場所	備考
第 87 回	157	石礫		29.6			輝石安山岩	F2SV1	
	158	石礫		19.4			G3 表土		
	159	石礫					輝石安山岩	F2SV2 崩壊層	上段
	160	砂白					F2SV2 崩壊層		上段
	161	砂白					F2 黄土		上段
	162	石礫					輝石安山岩	F2 黄土	上段
					28			F2SV3 裏	

収録番号	巻号	種別	題名	原典(巻・頁)	主典の巻・頁	副典の巻・頁	実証箇所	作註箇所	史料	注の属性	備考	
第 87 巻	163	補記	115	12	12	115	12	115	12	師範校宛書	F2 筆蹟	下1
	164	補記	16	16	17	12	96	298	287	師範校宛書	F2501 筆蹟	下1
	165	165a				38	31			師範校宛書	F1953 筆蹟	上1
	166	165b	36		12	65	31			師範校宛書	F1 筆蹟・書状	上1
	167	165c	33		08	11	21			師範校宛書	S211 筆蹟	上1
第 88 巻	168	168a	32.4.0	2.8	12	131	107			師範校宛書	S212 筆蹟	上1
	169	171a	37.4	11	86	42				師範校宛書	F2 筆蹟・書状	上1
	170	171b	29.2	44.0	0.3	95	26			師範校宛書	S213 筆蹟	上1
	171	171c	2.4							師範校宛書	S2 筆蹟・書状	下1
	172	171d								師範校宛書	S2 筆蹟	下1
第 89 巻	173	173a	26.5	2.6	15	15	131			師範校宛書	S2 筆蹟	下1
	174	173b	26.5	2.7						師範校宛書	F352 筆蹟	下1
	175	173c	26.5	0.4	14	105	86			師範校宛書	S2 筆蹟	下1
	176	173d	26.5	0.4						師範校宛書	S2 筆蹟	下1
	177	173e	26.5	0.4						師範校宛書	S2 筆蹟	下1

図録番号	番号	器種	高さ(cm)	胴行(cm)	巾(cm)	残存率(%)	石材	出土場所	備考
第99図	175	五輪塔	14.3	24.8	23.8	75	角閃石(泰山岩)	SV3 墓	火輪

図面番号	番号	器種	高さ (cm)	奥行 (cm)	巾 (cm)	底径 (直径)	完存率 (%)	石材	出土場所	備考
第 89 図	176	五輪桶	12.4	13.6	22.3	16	40	輝石雲山岩	F2SV2 墓	水漏

編號	管號	規格	高度 (cm)	長度 (cm)	巾 (cm)	容存率 (%)	石料	出土場所	備考
廣勝園	177	五輪帶	16.8	20.6	21.1	80	角閃石雲山岩	D317SX10	地輪
廣勝園	178	五輪帶	16.8	10.3	10.9	90	角閃石雲山岩	G3 表土	地輪
廣勝園	179	五輪帶	17.2	27	24.6	95	角閃石雲山岩	G3 表土	地輪

三の丸地区④

第 1 期	180	15 分	13.5	18.5	18.2	90	筑波会館山手	F291 新橋場	増橋
第 2 期	180	15 分	10.9	13.9	14.2	70	六甲山手	G420 山手場	増橋
第 3 期	182①	15 分	12.5	15.7	15.9	98	榎石山手	F291 新橋場	増橋、実光寺
第 4 期	182②	15 分	12.5	15.7	15.9	98	榎石山手	F291 新橋場	増橋、実光寺
第 5 期	182③	15 分	12.5	15.7	15.9	98	榎石山手	F291 新橋場	増橋、実光寺
第 6 期	182④	15 分	12.5	15.7	15.9	98	榎石山手	F291 新橋場	増橋、実光寺

183	天竺地寶	1034 年	C23T 鐵土庫
184	景祐寶貨	1041 年	D01T
185	元祐通寶	1086 年	F4 鐵土庫
186	永寧通寶	1408 年	D43T
187	永樂通寶	1408 年	F1 鐵土庫
188	萬寧通寶	1568 年	F252T 鐵
189	萬安通寶	1668 年～	F259T 鐵
190	萬壽通寶	1668 年～	D61T 鐵土庫
191	萬永通寶	F259T 鐵	第十一序
192	萬永通寶	F259T 鐵	第十一序
193	萬永通寶	F2 鐵	第十一序
194	統緒元	1739～	F259T 鐵
195	統緒元	1739～	鐵
196	仁王通寶		C23T 鐵土庫
197	仁王通寶		D43T 鐵土庫
198	仁王通寶		鐵

○ 日本貨幣

測点番号	緯号	経号	高さ (m)	市 (km)	高さ (m)	注記・備考	番号
199	#1		6.9	0.44	0.45	F45313	
200	#1		7.1	0.55	0.53	F45313	
201	#1		5.6以上	0.7	0.7	F2表土中	
202	#1		4.3	0.4	0.4	D217X10	
203	#1		3.5以上	0.42	0.42	F2層	
204	#1		5.3以上	0.5	0.5	F1	
205	#1		6.8	0.5	0.5	F45311	
206	#1		4.6	0.4	0.4	F4表土中	
207	#1		4.3	0.39	0.39	F2表土中	
208	#1		3.3以上	0.7	0.7	D211 盛土層	
209	#1		4.3	0.5	0.5	D611 盛土層	
210	#1		3.2	0.4	0.4	F221 盛土層	
211	#1		3.8	0.6	0.6	F4表土中	
212	#1		3.4	0.55	0.55	C221 盛土層	

215	町	2.20	0.0	0.0	0.0	0271 上野原	
216	町	2.2	0.0	0.0	0.0	0271 上野原	
217	町	3.8	0.5	0.5	0.5	0272 上野原	
217	町	3.1	0.5	0.5	0.5	04 豊後市	
218	町(管外)	12	0.35	0.35	0.35	0271 上野原	
219	組合	1.6	0.8	0.6	0.6	03 豊後市	
220	組合	5.8	0.85	0.65	0.65	03 豊後市	
221	町	4.8	0.7	0.7	0.7	0211 上野原	
222	小計(外)	6.2	0.2	0.2	0.2	03 豊後市	
223	小計(内)	5.4	1.8	0.2	0.2	03 豊後市	
224	小計(内)	5.5	0.2	0.2	0.2	03 豊後市	
225	組合	5.8	1.3	0.9	0.9	04 豊後市	
226	組合	6.8	0.2	0.9	0.9	0271 上野原	
227	組合(シリウ)製製品	2.8	4.5	0.3	0.3	03 豊後市	
228	組合(シリウ)	3.7	2.1	0.2	0.2	04 豊後市	
229	組合製品	2.3	2.3	0.1	0.1	03 豊後市	福岡市
230	組合製品	10.0	0.3	0.3	0.3	0451 上野原	福岡市
231	小計(外)(原)	6.5	0.9	0.9	0.9	03 豊後市	
232	組合	1.1	1.1	1.1	1.1	03 豊後市	
233	組合	2.2	0.6	0.6	0.6	0617 上野原	
234	組合	2.1	0.4	0.4	0.4	02 豊後市	

236	絲龜	3.6	2.2	0.4	D3 黃土砂	
237	海狗骨全厚	5.6	5.6	4	D7 土	黃土砂
238	狗頭骨全厚	6.4	6.4	3.6	D5 黃土層	砂土 (軟黏土), 白色粘土質
239	鯨牙	6.6	3.8 以上	1.1	D22 黃土砂	
240	狗頭 (狗頭骨盤)	3.2 以上	3.2 以上	3.8	D7 黃土砂	砂 (黃土)
241	海狗骨全厚	8.4	7.2	2.1	D4 土	黃土層
242	骨口			2.5 (乳欄)	D11 黃土層	粘土、黃褐色、白粉、赤粉、最細粘土質

図面番号	番号	種別	出土場所	備考
	244	横穴	A22T 盛土層	中期

第 92 页	246	編文	DS1T 橋土層	中國
	247	編文	DS1T 橋土層	中國

出土遺物観察表 (14)

二の丸地区⑤

248	縄文	D317 磨土層	中国	
249	縄文	D311 磨土層	中国	
250	縄文	D321 磨土層	中国	
251	縄文	D327 磨土層	中国	
252	縄文	F4 磨土層	中国	
253	縄文	D327 磨土層	中国	
254	縄文	D383 磨土層	中国	
255	縄文	D311 磨土層	中国	
256	縄文	D321 磨土層	中国	
257	縄文	D411 磨土層	中国	
258	縄文	D327 磨土層	中国	
259	縄文	F2 磨土層	中国	
260	縄文	A227 磨土層	中国	
261	縄文	D321 磨土層	中国	
262	縄文	D311 磨土層	中国	
264	縄文	F4 磨土層	中国	
265	縄文	A227 磨土層	中国	
266	縄文	D311 磨土層	中国	
267	縄文	F2 磨土層	中国	
268	縄文	D311 磨土層	中国	
269	縄文	C227 磨土層	中国、浅緑	
270	縄文	F431 磨土層	中国、浅緑	
271	縄文	D431 磨土層	中国、浅緑	
272	縄文	D327 磨土層	中国、浅緑	
273	縄文	D327 磨土層	中国、浅緑	
274	縄文	D311 磨土層	中国、浅緑	
275	縄文	F263 磨土層	中国	
276	縄文	F252 磨土層	中国、浅緑・黄色粘土・外周部磨土層	

調査番号	場所	種類	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (mm)	出土位置	材料	備考
277	打石石		10.3	4.1	1.5	D431 磨土層	磨土層	
278	打石石		7以上	4	1.8	C227 磨土層	磨土層	
279	打石石		5以上	4.3	1	A431 磨土層	磨土層	
280	打石石		5.8以上	4.5	1	D327 磨土層	磨土層	
281	打石石		5以上	5.3	1.8	A227 磨土層	磨土層	
282	打石石		4以上	7.2	1	D327 磨土層	磨土層	
283	打石石		6.5	4	1.5	D311 磨土層	磨土層	
284	打石石		4.6	2.9	1	F357 磨土層	磨土層	
285	打石石		3.3	2.7	1.3	D311 磨土層	磨土層	
286	打石石		2.8	2.2	1.4	D327 磨土層	磨土層	

調査番号	種類	寸法 (cm)	厚さ (mm)	出土位置	備考
1	黄土・土			中国	
2	黄土・土			中国	
3	黄土・土			中国	
4	黄土・土			中国	
5	黄土・土			中国	
6	黄土・土			中国	
7	黄土・土			中国	
8	黄土・土			中国	
9	黄土・土			中国	
10	黄土・土			中国	
11	黄土・土			中国	
12	黄土・土			中国	
13	黄土・土			中国	
14	黄土・土			中国	
15	黄土・土			中国	
16	黄土・土			中国	
17	黄土・土			中国	
18	黄土・土			中国	
19	黄土・土			中国	
20	黄土・土			中国	
21	黄土・土			中国	
22	黄土・土			中国	
23	黄土・土			中国	
24	黄土・土			中国	
25	黄土・土			中国	
26	黄土・土			中国	
27	黄土・土			中国	
28	黄土・土			中国	
29	黄土・土			中国	
30	黄土・土			中国	
31	黄土・土			中国	

出土遺物観察表 (15)

郭馬出地区②

32	黄土・土			中国	
33	黄土・土			中国	
34	黄土・土			中国	
35	黄土・土			中国	
36	黄土・土			中国	
37	黄土・土			中国	
38	黄土・土			中国	
39	黄土・土			中国	
40	黄土・土			中国	
41	黄土・土			中国	
42	黄土・土			中国	
43	黄土・土			中国	
44	黄土・土			中国	
45	黄土・土			中国	
46	黄土・土			中国	
47	黄土・土			中国	
48	黄土・土			中国	
49	黄土・土			中国	
50	黄土・土			中国	
51	黄土・土			中国	
52	黄土・土			中国	
53	黄土・土			中国	
54	黄土・土			中国	
55	黄土・土			中国	
56	黄土・土			中国	
57	黄土・土			中国	
58	黄土・土			中国	
59	黄土・土			中国	
60	黄土・土			中国	
61	黄土・土			中国	
62	黄土・土			中国	
63	黄土・土			中国	
64	黄土・土			中国	
65	黄土・土			中国	
66	黄土・土			中国	
67	黄土・土			中国	
68	黄土・土			中国	
69	黄土・土			中国	
70	黄土・土			中国	
71	黄土・土			中国	
72	黄土・土			中国	
73	黄土・土			中国	
74	黄土・土			中国	
75	黄土・土			中国	
76	黄土・土			中国	
77	黄土・土			中国	
78	黄土・土			中国	
79	黄土・土			中国	
80	黄土・土			中国	
81	黄土・土			中国	
82	黄土・土			中国	
83	黄土・土			中国	
84	黄土・土			中国	
85	黄土・土			中国	
86	黄土・土			中国	
87	黄土・土			中国	
88	黄土・土			中国	
89	黄土・土			中国	
90	黄土・土			中国	
91	黄土・土			中国	
92	黄土・土			中国	
93	黄土・土			中国	
94	黄土・土			中国	
95	黄土・土			中国	
96	黄土・土			中国	
97	黄土・土			中国	
98	黄土・土			中国	
99	黄土・土			中国	
100	黄土・土			中国	
101	黄土・土			中国	
102	黄土・土			中国	
103	黄土・土			中国	

出土遺物觀察表 (16)

郭馬出地区③

第110号	104	内江主線	普通	黄緑色、白色、黄色に赤子を含む	K4 黄土	ほぼ無味	
	105	内江主線	普通	黄緑色、白色、黄色、赤色に赤子を含む	K4 黄土	味わず	
	106	内江主線	普通	黄緑色、白色、黄色、赤色に赤子を含む	K4 黄土	味わず	
	107	内江主線	普通	黄緑色、白色、黄色、赤色に赤子を含む	K4 黄土	味わず	
	108	内江主線	普通	黄緑色、白色、黄色、赤色に赤子を含む	K4 黄土	味わず	
	109	内江主線	普通	黄緑色、白色、黄色、赤色に赤子を含む	K4 黄土	味わず	
	110	内江主線	普通	黄緑色、白色、黄色、赤色に赤子を含む	K4 黄土	味わず	
	111	内江主線	普通	黄緑色、白色、黄色、赤色に赤子を含む	K4 黄土	味わず	
	112	内江主線	普通	黄緑色、白色、黄色、赤色に赤子を含む	K4 黄土	味わず	
	113	内江主線	普通	黄緑色、白色、黄色、赤色に赤子を含む	K4 黄土	味わず	
	114	内江主線	普通	黄緑色、白色、黄色、赤色に赤子を含む	K4 黄土	味わず	
	115	内江主線	普通	黄緑色、白色、黄色、赤色に赤子を含む	K4 黄土	味わず	
	116	内江主線	普通	黄緑色、白色、黄色、赤色に赤子を含む	K4 黄土	味わず	
	117	内江主線	普通	黄緑色、白色、黄色、赤色に赤子を含む	K4 黄土	味わず	
第111号	118	内江主線	14	普通	白色、黄色、赤色、赤子を含む	K4 黄土	味わず
	119	内江主線	普通	白色、黄色、赤色、赤子を含む	K4 黄土	味わず	
	120	内江主線	普通	白色、黄色、赤色、赤子を含む	K4 黄土	味わず	
	121	内江主線	普通	白色、黄色、赤色、赤子を含む	K4 黄土	味わず	
	122	内江主線	普通	白色、黄色、赤色、赤子を含む	K4 黄土	味わず	
	123	内江主線	普通	白色、黄色、赤色、赤子を含む	K4 黄土	味わず	
	124	内江主線	普通	白色、黄色、赤色、赤子を含む	K4 黄土	味わず	
	125	内江主線	普通	白色、黄色、赤色、赤子を含む	K4 黄土	味わず	
	126	内江主線	普通	白色、黄色、赤色、赤子を含む	K4 黄土	味わず	
	127	内江主線	普通	白色、黄色、赤色、赤子を含む	K4 黄土	味わず	
	128	内江主線	普通	白色、黄色、赤色、赤子を含む	K4 黄土	味わず	
	129	内江主線	普通	白色、黄色、赤色、赤子を含む	K4 黄土	味わず	
	130	内江主線	普通	白色、黄色、赤色、赤子を含む	K4 黄土	味わず	
	131	内江主線	普通	白色、黄色、赤色、赤子を含む	K4 黄土	味わず	

調査年度	番号	場所	高さ (cm)	厚さ (cm)	石材	出土層別	備考	
第11年度	129	板石	9.3 出土	3.1	2.2	溝板石	K3 覆土	
	130	板石	10 出土	3.7	3.7	溝板石	J21 覆土層	
	131	板石	2.8 出土	3.2	2.4	溝板石	K3 覆土	
	132	板石	2.8 出土	1.6	1.3	溝板石	J37 覆土層か	大部分欠損
	133	板	10 出土	4.2	1.3		J47 覆土層か	
	134	板	5.8 出土	1.7	1.2		K4 覆土	
	135	板か	4.6 出土	2.3	2.2		K4 覆土	
	136	板石か	2.3	1.8	0.5		K3 覆土	
	137	板石か	2	1.7	0.4		K3	
	138	板石か	1.9	1.2	0.3		J21 覆土	
	139	板石か	1.9	1.3	0.4		K3 覆土	
	140	木片(木片)	3	2.5	2.1	ギョーゴ	K2 覆土	
	141	木片(木片)	3.6	2.4	1.9	ギョーゴ		
	142	木片(木片)	3.1	2.1	0.9	ギョーゴ		
	143	木片(木片)	3.1	1.9	1	ギョーゴ	H17 覆土層か	
	144	木片(木片)	2.7	2.2	1.7	ギョーゴ	K3 覆土	
	145	木片(木片)	2.8	2.3	1.4	ギョーゴ	K3 覆土	
	146	木片(木片)	3.7	2.2	3.3	ギョーゴ	K3 覆土	
147	木片(木片)	2.5	1.9	1.9	ギョーゴ	K3 覆土		
148	木片(木片)	2.5	1.9	1.8	ギョーゴ	J21 覆土		
149	板石(板石)				板石	K3 覆土		

原産地番号	品名	種別	長さ (cm)	幅行き (cm)	巾 (cm)	口内長さ (cm)	口外長さ (cm)	口辺部の直径 (cm)	石材	出土場所	備考
家112番	150	砂岩石	5.8	11	11.2	5	1.4	6.9	奥谷町西山面	掘土	

原産地番号	品名	種別	長さ (cm)	幅行き (cm)	最大径 (cm)	最小径 (cm)	石材	出土場所	備考
家112番	151	砂岩	26.1				奥谷町西山面	掘土	

調査年度		調査年度										調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	
調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査年度	調査						

出土遺物觀察表 (17)

鄧匪出地區④

第 112 頁		199	10/25	37.8	2	1.8	10.2	9.2	博奇倫公司		K1 貴士	7/10
測站編號	儀器	磁差	磁角	方位	方位 (cm)	方位 (cm)	方位 (cm)	方位 (cm)	方位	K2 北端	K2 北端	方位
第 113 頁	160	磁差	27.6	15.7	15.4	98	廣南石山前	K2 北端	K2 北端	方位	方位	方位
	161	磁差	22.6	27.8	26.1	97	廣南石山前	K2 北端	K2 北端	方位	方位	方位
	162	磁差	19.4	27	27.1	85	廣南石山前	K2 北端	K2 北端	方位	方位	方位
	163	磁差	17.5	25.5	26.1	98	廣南石山前	K1 貴士	K2 北端	方位	方位	方位
	164	磁差	13.3	21.6	22.4	90	廣南石山前	K2 北端	K2 北端	方位	方位	方位
	165	磁差	14.8	18.5	19.5	93	廣南石山前	K2 北端	K2 北端	方位	方位	方位
	166	磁差	9.1	12.9	22.8	9.8	廣南石山前	K2 北端	K2 北端	方位	方位	方位
	167	磁差	15.3	17.6	13.8	70	廣南石山前	K2 北端	K2 北端	方位	方位	方位
	168	磁差	15.3	17.6	13.8	70	廣南石山前	K2 北端	K2 北端	方位	方位	方位
	169	磁差	15.3	17.6	13.8	70	廣南石山前	K2 北端	K2 北端	方位	方位	方位

羽取番号	番付	氏姓名	初戦年	上場場所	備考
第113回	168	豊(徳元) ひ	1004 年	2/27 堀土原か	豊(祐元)か 1034 年/豊(定元)か 1269 年
	169	豊元(豊元) 俊	1101 年	1/27 赤土	
	170	永永通清	1408 年	3/堀土原か	
	171	〇〇元親、〇〇元口親		6/1 下堀土原	
	172	〇〇〇		K3 赤土	
	173	不明		1/11T	
	174	不明		K3 赤土	

調査年度	番号	種名	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	出土場所	備考
第13窟	175	釘か 紐金	2.4以上	1	0.8	B2 土庫	
	176	釘		0.55	0.35	14 土庫	
	177	釘	5.8以上	0.7	0.7	A7 土庫	
	178	釘	5.5以上	0.5	0.5	13 土庫	
	179	釘	5.0以上	0.4	0.4	B1 土庫	
	180	釘		0.5	0.3	12 土庫	
	181	釘	4.9	0.7	0.7	B2 土庫	
	182	釘	3.7	0.4	0.4	14 土庫	
	183	釘	4.1以上	0.3	0.3	15 土庫	
	184	釘	4.9	0.7	0.7	15 土庫	
	185	釘	3.5	0.5	0.5	14 土庫	
	186	刀ノ欠	4.5以上	1.1	0.13	A7 土庫	
	187	刀ノ欠	3.2以上	0.8	0.3	B2 土庫	
	188	刀ノ欠	4.1以上	0.2	0.35	14 土庫	
	189	鉄製品(木部)	1.8以上	1.4	0.5	15 土庫	
	190	金ナゲル	2.5以上	1.0	1	13 土庫	
	191	金ナゲル	1.1	1.1	0.1	B2 土庫	

昭和番号	番号	題名	重量 (g)	出土場所	備考
第 14 冊	192	熊川彫刻浮	—	64 番土	内面 (馬柄ガラス管、海胆泡)、外面付替
	193	鉄球	—	64 番土	
	194	鉄球	—	17 番土	
	195	銅造銅契	—	83 番土	内面ガラス管、外面黒光面
	196	銅造銅契	—	1417 番土	内面ガラス管、外面朱色面、白色系のお石む

図版番号	番号	種別	直径 (cm)	高さ (cm)	粘土	出土場所	備考
第114図	197	取瓶（かわかけ用印）	9.2	6	2.15	基礎砂、白土・赤土粒を含む	外口縁部は黄、腹面緑色→黄、腹面褐色に還元化。僅かに黄斑。
	198	取瓶（かわかけ用印）	8	5.4	1.2	灰白色の硬質土、黄色・黒褐色の薄皮を含む	内面褐色→黄、腹面褐色。外面は灰白色に還元化。僅かに黄斑。
	199	取瓶（かわかけ用印）	8	5.4	1.2	厚皮層が硬質土、白色粒子を含む	外縁部と口との間に黄斑に還元化。内面有多量に付着（白褐色）。

図番番号	番号	標本	長さ (cm)	直径 (cm)	孔径 (cm)	胎土	出土場所	備考
第114図	200	羽口				明茶褐色、白色、赤色粒子含む	J57T 富士層が	表面黒く変色、先端薄付着
	201	羽口		2.9	1.5	茶色、白色、赤色粒子含む	K4 後土	表面黒く変色

図書番号	巻号	種別	出土場所	備考
	203	漢文	出21	組紐を含む
	203	漢文	K4 巻土	中巻
	204	漢文	出1 巻土	中巻、履板上に処
	205	内宮御願	K1 巻土	
	206	内宮御願	K2 巻土	
	207	内宮御願	K3 巻土	
	208	内宮御願	K4	
	209	内宮御願	K1 巻土	
	210	内宮御願	K2 巻土	すかし入り
	211	内宮御願	K1 巻土	
	212	内宮御願	K1 巻土	
	213	内宮御願	K2 巻土	
	214	内宮御願	K2 巻土	
	215	内宮御願	K2 巻土	
	216	内宮御願	K2 巻土	青銅製有 (漆師人?)

出土遺物観察表 (18)

郭馬出地区⑤

調査番号	番号	種類	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	出土層	石材	備考
第115期	218	打製石	9	4.1	1.3	6J2	黒色頁岩	
	219	打製石	5.3	8.7	5.3	6J2	赤色頁岩	
	220	打製石	8.3	4.6	1.5	6A表土	黒色頁岩	
	221	打製石	4.3以上	4.1	1.7	6J表土	黒色頁岩	
	222	火打石・打製石	13.7 10.9	10.7 10.7	0.7 0.6	6J表土	黒色頁岩	10～11層の間にあり、赤い石の層の間に
	223	打製石	4.6	5.6	1.3	6J表土	赤色頁岩	
	224	打製石	3.3	4.8	1	6J表土	チャート	
	225	打製石	1.8	2.9	1.3	6J表土	黒色頁岩	
	226	打製石	1.3以上	1.7	0.7	6J表土	黒色頁岩	

大堀切地区①

調査番号	番号	種類	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	石材	出土層	備考
第121期	1	焼灰				焼灰・焼土	白色	大堀1, 内外面は焼土、外周は焼灰。
	2	石灰				焼灰	黒褐色	同層にみえ、外周はチャート。灰層
	3	石灰				焼灰	白色	
第121期	3	焼灰	12.4	3.9	3.9	石灰	IT	
	4	焼灰	12.2以上	8.4以上	1.8	石灰	IT	
	5	石灰	13.5	4.7	2.6	石灰	IT	
第121期	6	焼灰				石灰	IT	
	7	焼灰				石灰	IT	
	8	焼灰				石灰	IT	
第121期	9	焼灰				石灰	IT	
	10	焼灰				石灰	IT	
	11	焼灰				石灰	IT	
第121期	12	焼灰				石灰	IT	
	13	焼灰				石灰	IT	
	14	焼灰				石灰	IT	
第121期	15	焼灰				石灰	IT	
	16	焼灰				石灰	IT	
	17	焼灰				石灰	IT	
第121期	18	焼灰				石灰	IT	
	19	焼灰				石灰	IT	
	20	焼灰				石灰	IT	
第121期	21	焼灰				石灰	IT	
	22	焼灰				石灰	IT	
	23	焼灰				石灰	IT	

木俣地区①

調査番号	番号	種類	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	石材	出土層	備考
第127期	1	焼灰	8	中国	白色	5J17表土	石灰	焼灰・焼土
	2	焼灰	中国	白色	13J17表土	石灰	焼灰・焼土	
	3	焼灰	中国	白色	7J27表土	石灰	焼灰・焼土	
	4	焼灰	中国	白色	6J27表土	石灰	焼灰・焼土	
	5	焼灰	中国	白色	7J27表土	石灰	焼灰・焼土	
	6	焼灰	中国	白色	7J27表土	石灰	焼灰・焼土	
	7	焼灰	中国	白色	100～231付近表土	石灰	焼灰・焼土	
	8	焼灰	中国	白色	41付近表土	石灰	焼灰・焼土	
	9	焼灰	中国	白色	113付近表土	石灰	焼灰・焼土	
	10	焼灰	中国	白色	113付近表土	石灰	焼灰・焼土	
第127期	11	焼灰	中国	白色	100～231付近表土	石灰	焼灰・焼土	
	12	焼灰	中国	白色	114～151付近表土	石灰	焼灰・焼土	
	13	焼灰	中国	白色	151付近表土	石灰	焼灰・焼土	
	14	焼灰	中国	白色	151付近表土	石灰	焼灰・焼土	
	15	焼灰	中国	白色	141付近表土	石灰	焼灰・焼土	
	16	焼灰	中国	白色	141付近表土	石灰	焼灰・焼土	
	17	焼灰	中国	白色	141付近表土	石灰	焼灰・焼土	
	18	焼灰	中国	白色	141付近表土	石灰	焼灰・焼土	
	19	焼灰	中国	白色	141付近表土	石灰	焼灰・焼土	
	20	焼灰	中国	白色	141付近表土	石灰	焼灰・焼土	
第127期	21	焼灰	中国	白色	141付近表土	石灰	焼灰・焼土	
	22	焼灰	中国	白色	141付近表土	石灰	焼灰・焼土	
	23	焼灰	中国	白色	141付近表土	石灰	焼灰・焼土	
	24	焼灰	中国	白色	141付近表土	石灰	焼灰・焼土	
	25	焼灰	中国	白色	141付近表土	石灰	焼灰・焼土	
	26	焼灰	中国	白色	141付近表土	石灰	焼灰・焼土	
	27	焼灰	中国	白色	141付近表土	石灰	焼灰・焼土	
	28	焼灰	中国	白色	141付近表土	石灰	焼灰・焼土	
	29	焼灰	中国	白色	141付近表土	石灰	焼灰・焼土	
	30	焼灰	中国	白色	141付近表土	石灰	焼灰・焼土	

出土遺物観察表 (19)

木俣地区②

調査番号	番号	種類	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	石材	出土層	備考
第128期	28	焼灰				石灰	IT	
	29	焼灰				石灰	IT	
	30	焼灰				石灰	IT	
	31	焼灰				石灰	IT	
	32	焼灰				石灰	IT	
	33	焼灰				石灰	IT	
	34	焼灰				石灰	IT	
	35	焼灰				石灰	IT	
	36	焼灰				石灰	IT	
	37	焼灰				石灰	IT	
第128期	38	焼灰				石灰	IT	
	39	焼灰				石灰	IT	
	40	焼灰				石灰	IT	
	41	焼灰				石灰	IT	
	42	焼灰				石灰	IT	
	43	焼灰				石灰	IT	
	44	焼灰				石灰	IT	
	45	焼灰				石灰	IT	
	46	焼灰				石灰	IT	
	47	焼灰				石灰	IT	
第128期	48	焼灰				石灰	IT	
	49	焼灰				石灰	IT	
	50	焼灰				石灰	IT	
	51	焼灰				石灰	IT	
	52	焼灰				石灰	IT	
	53	焼灰				石灰	IT	
	54	焼灰				石灰	IT	
	55	焼灰				石灰	IT	
	56	焼灰				石灰	IT	
	57	焼灰				石灰	IT	
第128期	58	焼灰				石灰	IT	
	59	焼灰				石灰	IT	
	60	焼灰				石灰	IT	
	61	焼灰				石灰	IT	
	62	焼灰				石灰	IT	
	63	焼灰				石灰	IT	
	64	焼灰				石灰	IT	
	65	焼灰				石灰	IT	
	66	焼灰				石灰	IT	
	67	焼灰				石灰	IT	

調査番号	番号	種類	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	石材	出土層	備考
第129期	68	焼灰	33.2	4	9.3	石灰	IT	
	69	焼灰	34	4	9	石灰	IT	
	70	焼灰	34	4	9	石灰	IT	

調査番号	番号	種類	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	石材	出土層	備考
第130期	71	焼灰	2.8以上	3.3以上	1.3	石灰	IT	
	72	焼灰	2.9	2.9	2.3	チャート	IT	
	73	焼灰	4.3	2.6	1.3	チャート	IT	
	74	焼灰	4.1	2.6	2	チャート	IT	
	75	焼灰	1.6	1.5	1.3	チャート	IT	
	76	焼灰	2.4	2	1.3	チャート	IT	
	77	焼灰	1.8	1.6	0.7	チャート	IT	
	78	焼灰				チャート	IT	
	79	焼灰				チャート	IT	
	80	焼灰				チャート	IT	

調査番号	番号	種類	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	石材	出土層	備考
第131期	81	焼灰	111	111	111	石灰	IT	
	82	焼灰	123	123	123	石灰	IT	
	83	焼灰	1408	1408	1408	石灰	IT	
	84	焼灰	1408	1408	1408	石灰	IT	
	85	焼灰	1408	1408	1408	石灰	IT	

調査番号	番号	種類	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	石材	出土層	備考
第132期	86	焼灰	6.5以上	1.2	0.5	石灰	IT	
	87	焼灰	6.6以上	1.2	0.5	石灰	IT	
	88	焼灰	3.3	2	0.9	石灰	IT	
	89	焼灰	3.3	1.6	0.1	石灰	IT	
	90	焼灰	5.3	0.9	0.9	石灰	IT	

出土遺物観察表 (20)

木俣地区③

調査番号	番号	種類	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	出土場所	備考
第 140 回	88	円筒埴輪	φ12.1 T 表土				
	89	円筒埴輪	φ12.1 T 表土				
	90	円筒埴輪	φ12.1 T 表土				
	91	円筒埴輪	φ12.1 T 表土				
	92	円筒埴輪	φ12.1 T 表土				
	93	円筒埴輪	φ12.1 T 表土				
	94	円筒埴輪	φ12.1 T 表土				
	95	円筒埴輪	φ12.1 T 表土				
	96	円筒埴輪	φ12.1 T 表土				
	97	円筒埴輪	φ5.1 T 表土			溝へら記号有り	
	98	円筒埴輪	φ5.1 T 表土				
	99	円筒埴輪	φ5.1 T 表土				
	100	円筒埴輪	φ12.1 T 表土				
	101	円筒埴輪	φ12.1 T 表土				
第 141 回	102	円筒埴輪	φ12.1 T 表土				
	103	円筒埴輪	φ12.1 T 表土				
	104	円筒埴輪	φ12.1 T 表土				
	105	円筒埴輪	φ9 表土				
	106	円筒埴輪	φ13.1 T 表土				
	107	円筒埴輪	φ9 表土				
	108	円筒埴輪	φ9 表土				
	109	円筒埴輪	φ14.1 T 表土				
	110	円筒埴輪	φ12.1 T 表土				
	111	円筒埴輪	φ13.1 T				
	112	円筒埴輪	φ12.1 T 表土				
	113	円筒埴輪	φ12.1 T 表土				
	114	円筒埴輪	φ11.1 T 表土層			溝へら記号有り	
第 142 回	115	円筒埴輪	φ12.1 T 表土				
	116	円筒埴輪	φ9 表土				
	117	円筒埴輪	φ9 表土				
	118	円筒埴輪	φ15.1 T 表土				
	119	円筒埴輪	φ9 表土				
	120	円筒埴輪	φ12.1 T 表土				
	121	円筒埴輪	φ12.1 T 表土				
	122	円筒埴輪	φ12.1 T 表土				
	123	円筒埴輪	φ12.1 T 表土				
	124	円筒埴輪	φ12.1 T			赤褐色	
	125	円筒埴輪	φ9 表土				
	126	円筒埴輪	φ12.1 T 表土				
	127	円筒埴輪	φ14.1 T 表土				
	128	円筒埴輪	φ12.1 T 表土				
第 143 回	129	円筒埴輪	φ12.1 T 表土				
	130	円筒埴輪	φ12.1 T 表土				
	131	円筒埴輪	φ12.1 T 表土				
	132	円筒埴輪	φ13.1 T 表土			すかし有り	
	133	円筒埴輪	φ9 表土			溝へら記号有り	
	134	丸形埴輪 (器持人)	φ13.1 T 表土			表面磨損有り	
	135	丸形埴輪 (器持人)	φ12.1 T 表土				
	136	人形埴輪	φ12.1 T 表土			顔かぶり	
	137	円筒埴輪	φ12.1 T 表土			すかし有り	
	138	円筒埴輪	φ9.5, φ9 表土			赤褐色	
	139	円筒埴輪	φ9 表土				
	140	円筒埴輪	φ14.3			φ9 表土	

調査番号	番号	種類	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	出土場所	備考
第 143 回	141	打製石片	7	6.4	3.3	φ16.1 T	黒色貫首
	142	打製石片	10.7	2.7	0.9	φ14.1 T 表土	黒色貫首
	143	打製石片	9	8.6	1.7	φ20.1 T	黒色貫首
	144	打製石片	6.6	4.6	1.2	φ19.4 T 表土	黒色貫首

出土場所中の「四角」は J1・J3、K1・K3、L9 グリットの 2005 年度調査の未収・集積庫周辺の地。「本丸土」は昭和 57 年度調査地点の地。そのほか、角は、φ14.3 (φ12.1 T 表土) は φ4 グリットの φ9.1 T 表土の表土止を意味する。

本丸地区①

調査番号	番号	種類	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	出土場所	出土場所	備考
第 205 回	1	青灰色・土				φ4.0421 T 表土	B1 群	
	2	青灰色・土	12.2			φ4.0521 T 表土	B1 群	
	3	青灰色・土				φ4.0621 T 表土	B1 群	
	4	青灰色・土				φ4.0721 T 表土	B1 群	
	5	青灰色・土	7.2			φ4.0821 T 表土	B1 群	
	6	青灰色・土				φ4.0921 T 表土	B1 群	
	7	青灰色・土				φ4.1021 T 表土	B1 群	
	8	青灰色・土				φ4.1121 T 表土	B1 群	
	9	青灰色・土				φ4.1221 T 表土	B1 群	
	10	青灰色・土				φ4.1321 T 表土	B1 群	
	11	青灰色・土				φ4.1421 T 表土	B1 群	

出土遺物観察表 (21)

本丸地区②

第 205 回	12	青灰色・土				φ4.0321 T 表土	B1 群	
	13	青灰色・土				φ4.0421 T 表土	B1 群	
	14	青灰色・土				φ4.0521 T 表土	B1 群	
	15	青灰色・土				φ4.0621 T 表土	B1 群	
	16	青灰色・土				φ4.0721 T 表土	B1 群	
	17	青灰色・土				φ4.0821 T 表土	B1 群	
	18	青灰色・土				φ4.0921 T 表土	B1 群	
	19	青灰色・土				φ4.1021 T 表土	B1 群	
	20	青灰色・土				φ4.1121 T 表土	B1 群	
	21	青灰色・土				φ4.1221 T 表土	B1 群	
	22	青灰色・土				φ4.1321 T 表土	B1 群	
	23	青灰色・土				φ4.1421 T 表土	B1 群	
	24	青灰色・土				φ4.1521 T 表土	B1 群	
	25	青灰色・土				φ4.1621 T 表土	B1 群	
第 206 回	26	青灰色・土				φ4.1721 T 表土	B1 群	
	27	青灰色・土	10	5.8	2.5	φ4.1821 T 表土	B1 群	
	28	青灰色・土				φ4.1921 T 表土	B1 群	
	29	青灰色・土				φ4.2021 T 表土	B1 群	
	30	青灰色・土				φ4.2121 T 表土	B1 群	
	31	青灰色・土				φ4.2221 T 表土	B1 群	
	32	青灰色・土				φ4.2321 T 表土	B1 群	
	33	青灰色・土				φ4.2421 T 表土	B1 群	
	34	青灰色・土				φ4.2521 T 表土	B1 群	
	35	青灰色・土				φ4.2621 T 表土	B1 群	
	36	青灰色・土				φ4.2721 T 表土	B1 群	
	37	青灰色・土				φ4.2821 T 表土	B1 群	
	38	青灰色・土				φ4.2921 T 表土	B1 群	
	39	青灰色・土				φ4.3021 T 表土	B1 群	
第 207 回	40	青灰色・土				φ4.3121 T 表土	B1 群	
	41	青灰色・土				φ4.3221 T 表土	B1 群	
	42	青灰色・土				φ4.3321 T 表土	B1 群	
	43	青灰色・土				φ4.3421 T 表土	B1 群	
	44	青灰色・土				φ4.3521 T 表土	B1 群	
	45	青灰色・土				φ4.3621 T 表土	B1 群	
	46	青灰色・土				φ4.3721 T 表土	B1 群	
	47	青灰色・土				φ4.3821 T 表土	B1 群	
	48	青灰色・土				φ4.3921 T 表土	B1 群	
	49	青灰色・土				φ4.4021 T 表土	B1 群	
	50	青灰色・土				φ4.4121 T 表土	B1 群	
	51	青灰色・土				φ4.4221 T 表土	B1 群	
	52	青灰色・土				φ4.4321 T 表土	B1 群	
	53	青灰色・土				φ4.4421 T 表土	B1 群	
	54	青灰色・土				φ4.4521 T 表土	B1 群	

出土遺物觀察表 (22)

本丸地区③

[illegible]

出土遺物觀察表 (23)

本丸地区④

[illegible]

出土遺物觀察表 (24)

本丸地区⑤

[illegible]

出土遺物觀察表 (25)

本丸地区④

246	葉	葉面	赤褐色、赤色、黒色暗緑色	H4 0327 表土	内面(内葉)赤褐色(自然緑)	
249	葉	葉面	赤褐色、赤色暗緑色	05 西条橋上	内面、赤褐色(くすび)、赤褐色暗緑色	
250	葉	葉面	赤褐色、赤色暗緑色	05 0441 表土	内面、赤褐色(くすび)、赤褐色暗緑色、 254、256、270	
251	葉	葉面	赤褐色、赤色、黒色暗緑色	H7 0327 表土	内面赤褐色(赤味)、内面灰褐色	
252	葉	葉面	白粉地子を含む	H7 0327	外面赤褐色	
253	葉	葉面	赤褐色、赤色暗緑色、赤、 ややサビツキ手模りを含む	01 0497 根土上	外(赤褐色)、葉縁、内面(灰褐色ですすき)	
254	葉	葉面	赤褐色、赤色暗緑色を含む	03 03 表土	外面(赤褐色、黒點)、内面、赤褐色 赤色	
255	葉	葉面	赤褐色、赤色暗緑色を含む	12 04127 根土上	外面、赤褐色、白粉地、内面、赤褐色 赤色	
256	葉	葉面	赤褐色、赤色暗緑色を含む	07 04127 表土	外面、赤褐色、白粉地、内面、赤褐色 赤色	
257	葉	葉面	赤褐色、赤色暗緑色を含む	04 04127 表土	外面、赤褐色、白粉地、内面、赤褐色 赤色	
258	葉	葉面	灰褐色、赤色暗緑色を含む	H7 0327 表土	外面、灰褐色、すずり付、内面、灰褐色 赤色	
259	葉	葉面	赤褐色、赤色暗緑色を含む	01 04 表土	外面、赤褐色、赤、暗緑色、 256、195、200、207、211、221、225、258、 210、222 斑入り	
260	葉	葉面	赤褐色、赤色暗緑色を含む	H4 0417	外面、赤褐色、赤、暗緑色、 256、195、200、207、211、221、225、258、 210、222 斑入り	
261	やわらけ	7	4.9	1.8	花面	赤褐色、赤色暗緑色を含む、 暗緑色、月夜色
262	やわらけ	10.8	6.5	2.3	花面	赤褐色、赤色、赤色、 赤色暗緑色を含む
263	やわらけ	15.8	9.4	2.8	花面	赤褐色、赤色、赤色、赤色 暗緑色を含む
264	やわらけ	7.8	5.6	1.8	花面	白粉地、赤褐色、赤色、黒色 暗緑色を含む
265	やわらけ	11.7	5.8	3.3	花面	白粉地、赤褐色、赤色、黒色 暗緑色を含む
266	やわらけ	11	5.7	3.1	花面	白粉地、赤褐色、赤色、黒色 暗緑色を含む
267	やわらけ	11.2	6.6	3.0	花面	白粉地、赤褐色、赤色、黒色 暗緑色を含む
268	やわらけ	10.3	6.6	2.9	花面	白粉地、赤褐色、赤色、黒色 暗緑色を含む
269	やわらけ	9.1	6	2.2	花面	赤褐色、赤色、赤色、赤色 暗緑色を含む
270	やわらけ	8.4	4.9	1.8	花面	赤褐色、赤色、赤色、赤色 暗緑色を含む
271	やわらけ	10.6	6.4	2.4	花面	赤褐色、赤色、赤色、赤色 暗緑色を含む
272	やわらけ	10.8	6.6	2.4	花面	赤褐色、赤色、赤色、赤色 暗緑色を含む
273	やわらけ	14.7	7.9	2.9	花面	赤褐色、赤色、赤色、赤色 暗緑色を含む
274	やわらけ	8.8	6.1	2.3	花面	赤褐色、赤色、赤色、赤色 暗緑色を含む
275	やわらけ	11.1	6	2.6	花面	赤褐色、赤色、赤色、赤色 暗緑色を含む
276	やわらけ	12.6	7.6	3.2	花面	赤褐色、赤色、赤色、赤色 暗緑色を含む
277	やわらけ	12	7.2	2.7	花面	赤褐色、赤色、赤色、赤色 暗緑色を含む
278	やわらけ	11	7.3	2.3	花面	赤褐色、赤色、赤色、赤色 暗緑色を含む
279	やわらけ	11.2	7	2.3	花面	赤褐色、赤色、赤色、赤色 暗緑色を含む
280	やわらけ	12	7	2.3	花面	赤褐色、赤色、赤色、赤色 暗緑色を含む
281	やわらけ	12.8	8	2.6	花面	赤褐色、赤色、赤色、赤色 暗緑色を含む
282	やわらけ	12.7	7.1	2.3	花面	赤褐色、赤色、赤色、赤色 暗緑色を含む
283	やわらけ	10.1	6.2	2.2	花面	赤褐色、赤色、赤色、赤色 暗緑色を含む
284	やわらけ	10.9	6.7	1.8	花面	赤褐色、赤色、赤色、赤色 暗緑色を含む
285	やわらけ	11.2	6.2	2.3	花面	赤褐色、赤色、赤色、赤色 暗緑色を含む
286	やわらけ	11	7	2	花面	赤褐色、赤色、赤色、赤色 暗緑色を含む
287	やわらけ	12.1	6.6	3.1	花面	赤褐色、赤色、赤色、赤色 暗緑色を含む
288	やわらけ	12.8	7.5	3.3	花面	赤褐色、赤色、赤色、赤色 暗緑色を含む

出土遺物觀察表 (28)

本丸地区⑨

375	やわらけ	6.8	包紙	赤褐色、白色、黒色、赤褐色子食む	GS31T	左利眼
376	やわらけ	6.8	包紙	赤褐色、白色、黒色、赤褐色子食む	GS31T 黒土	左利眼
377	やわらけ	7.4	包紙	白褐色、白色、赤褐色、赤褐色子食む	HA0315SK2	右利眼
378	やわらけ	6.5	包紙	黄褐色、白色、赤褐色、黒褐色、黒褐色子食む	HA03T 黒土	右利眼、内歯部黒土ナ
379	やわらけ	8.2	包紙	黄褐色、白色、赤褐色、黒褐色、黒褐色子食む	GS31T 黒土	右利眼
380	やわらけ	8.2	包紙	黄褐色、白色、赤褐色、黒褐色、黒褐色子食む	GS31T 黒土	ぶつぎ実株、華紋葉状ニ黒土よりオクロクノ土
381	やわらけ	5.6	包紙	白色、赤褐色、黒褐色子 歯部黄褐色、白色、黒褐色、黒褐色に似る	K2312T	左利眼
382	やわらけ	7.1	包紙	黄褐色、白色、黒色、赤褐色子食む	MA04T 黒土	左利眼
383	やわらけ	6.4	包紙	黄褐色、白色、黒色、赤褐色子食む	MA204T 黒土	
384	やわらけ	6.0	包紙	黄褐色、白色、黒色、赤褐色子食む	KA0311502 K2312 黒土	左利眼、歯部外歯状実株、歯部内歯状ナデナ
385	やわらけ	6.7	包紙	白色、黒色、赤褐色子食む	GS31T3K5	
386	やわらけ	6.2	包紙	黄褐色、白色、赤褐色、赤褐色子食む	GS401T	内歯部黒色、左利眼
387	やわらけ	6.9	包紙	黄褐色、白色、赤褐色、赤褐色子食む	GS405T 黒土	歯部黒褐色、左利眼、歯部外歯状実株、歯部内歯状ナデナ
388	やわらけ	6.4	包紙	黄褐色、白色、黒色、赤褐色子食む	GS401T	
389	やわらけ	8	包紙	黄褐色、白色、黒色、赤褐色子食む	KA031T 黒土	内歯部、一部にターゲル歯
390	やわらけ	6.6	包紙	黄褐色、白色、黒色、赤褐色子食む	GS31 黒土	歯部外歯状実株、歯部内歯状ナデナ、左利眼
391	やわらけ	7	包紙	黄褐色、白色、赤褐色、赤褐色子食む	MA04T 黒土	歯部外歯状実株、歯部内歯状ナデナ、左利眼
392	やわらけ	6	包紙	黄褐色、白色、黒色、赤褐色子食む	GS31T 黒土	歯部外歯状実株、歯部内歯状ナデナ、左利眼
393	やわらけ	5.9	包紙	黄褐色、白色、黒色、赤褐色子食む	GS41T	左利眼
394	やわらけ	6.2	包紙	黄褐色、白色、赤褐色、赤褐色子食む	HA0412T、127 赤土、黒土層	左利眼
395	やわらけ	4.5	包紙	黄褐色、白色、赤褐色、赤褐色子食む	GS404 赤土	
396	やわらけ	5.6	包紙	黄褐色、白色、赤褐色、赤褐色子食む	GS31T 黒土	左利眼
397	内耳土層	25.6	包紙	褐色、白褐色子食む	HA002SK2	内歯にぶら下がる付着、外歯す付着、歯と歯肉
398	内耳土層	30	包紙	黄褐色、白色、赤褐色、赤褐色子食む	KA031T 赤褐色黒褐色、KA031T 黒土	内歯黒褐色、
399	内耳土層		包紙	黄褐色、白色、赤褐色、黒褐色子食む	HA002SK5	外歯黒褐色、外歯す付着
400	内耳土層		包紙	白色、赤褐色、黒褐色子食む	MS31T 黒土	内歯外歯黒褐色
401	内耳土層		包紙	黄褐色、白色、赤褐色、赤褐色子食む	GS38T 黒土	歯部外歯状
402	内耳土層		包紙	黄褐色、白色、赤褐色、赤褐色子食む	GS302T 赤土	内歯黒褐色
403	内耳土層		包紙	灰赤褐色、白色、赤褐色、黒褐色子食む	KA031T	内内耳、歯部黒褐色、外歯部くす付着
404	内耳土層		包紙	黄褐色、白色、赤褐色、黒褐色子食む	MS31T39.9	外歯黒褐色す付着、内歯黒褐色黒褐色
405	内耳土層		包紙	黄褐色、白色、赤褐色、黒褐色子食む	YS034T 赤土	外歯黒褐色す付着
406	内耳土層		包紙	灰褐色、白色、赤褐色、黒褐色子食む	KA04 赤褐色黒土	外歯黒褐色す付着
407	内耳土層	27.4	包紙	黄褐色、白色、赤褐色、黒褐色子食む	GS045T 赤土	内歯黒褐色、外歯黒褐色、す付着
408	内耳土層		包紙	黄褐色、白色、赤褐色、黒褐色子食む	KA031T 黒土	外歯す付着
409	内耳土層		包紙	灰褐色、白色、赤褐色、黒褐色子食む	YS401T	
410	内耳土層		包紙	灰褐色、白色、赤褐色、黒褐色子食む	HS304T 黒土	外歯黒褐色、すす付着
411	内耳土層		包紙	灰褐色、白色、赤褐色、黒褐色子食む	MA04 黒土	外歯黒褐色、外歯す付着
412	内耳土層		包紙	黄褐色、白色、赤褐色、黒褐色子食む	GS405T	内歯黒褐色、外歯黒褐色(す付着)
413	内耳土層		包紙	黄褐色、白色、赤褐色、黒褐色子食む	GS31T	
414	内耳土層		包紙	灰赤褐色、白色、赤褐色、黒褐色子食む	KA0313 黒土	内耳外歯褐色
415	内耳土層		包紙	黄褐色、白色、赤褐色、黒褐色子食む	KA03 黒土	内耳部黒褐色
416	内耳土層		包紙	黄褐色、白色、赤褐色、黒褐色子食む	F960627 黒土	内耳内歯部(いなし)、外歯す付着
417	内耳土層		包紙	灰赤褐色、白色、赤褐色、黒褐色子食む	HA040T	内内耳、黄褐色、白色、赤褐色(歯すす付着)
418	内耳土層		包紙	黄褐色、白色、赤褐色、黒褐色子食む	KA040T	
419	内耳土層		包紙	黄褐色、白色、赤褐色、黒褐色子食む	K3040T 黒土	内内耳、黄褐色

出土遺物觀察表 (29)

本丸地区⑩

439	内耳土曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	63-50丸	外腹すずり骨、内腹黒褐色、420と同じサイズ
421	内耳土曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	63-50丸 黒土曜	420と、ほぼ等
422	内耳土曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	63-50丸 土曜	外腹すずり骨、内腹黒褐色
423	内耳土曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	62-04 両面に凹線環	外腹黒色(すずり骨)、内腹黒褐色
424	内耳土曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	63-50丸	内腹黒褐色、外腹、黒褐色(すずり骨)
425	内耳土曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	63-027532	外腹すずり骨
426	内耳土曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	66-0447502	内腹黒褐色(すずり骨)、外腹黒褐色、線刻が 縦刻れ、線刻間隔ナ
427	内耳土曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	1-04 両面に凹線環	すずり骨なし、外腹黒褐色、線刻が縦刻れ 線刻間隔ナ
428	内耳土曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白、線刻が縦刻れ	63-0497 赤土曜	
429	内耳土曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	63-0817	すずり骨、線刻が縦刻れ
430	内耳土曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	63-0497	すずり骨、線刻が縦刻れ、線刻間隔ナ
431	内耳土曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	63-0447506	すずり骨、線刻が縦刻れ、線刻間隔ナ
432	内耳土曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	63-0375329	内腹黒褐色、すずり骨、440
433	内耳土曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	63-0317 赤土曜	内腹黒褐色、すずり骨
434	内耳土曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	66-0375509	内腹黒褐色、すずり骨
435	内耳土曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	63-03 赤土曜	内外表面黒褐色の成、サンディック状の成、 両面黒褐色、外腹すずり骨
436	内耳土曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	63-0317 赤土曜	サンディック状の成、内外表面黒褐色、中、 反成
437	内耳土曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	65-067 赤土曜	内外黒褐色、外腹すずり骨
438	内耳土曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	65-0627 赤土曜	外腹黒、内腹、反成
439	内耳土曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	63-0217 赤土曜	サンディック状の成、中、反成、黒色、黒色
440	内耳土曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	63-0438 赤土曜	反成、すずり骨、内腹、反成、黒色、サン ディック状の成
441	内耳土曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	66-0377 赤土曜	外腹黒褐色、外腹すずり骨
442	内耳土曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	66-0357 赤土曜	外腹黒褐色、一部サンディック状の成
443	内耳土曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	63-0497	内外黒褐色、一部サンディック状の成
444	内耳土曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	69-0417 赤土曜	内外黒褐色外腹黒(すずり、440と類似してサン ディック状の成)
445	内耳土曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	69-0417 赤土曜	サンディック状の成、内外黒褐色
446	内耳土曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	65-067 赤土曜	内外黒褐色(いぼなし)、線刻縦有
447	内耳土曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	65-0627 赤土曜	内外黒褐色、外腹すずり骨
448	内耳土曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	66-0607 赤土曜	内外黒褐色
449	内耳土曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	63-0317 赤土曜	内外黒褐色、すずり骨、450
450	内耳土曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	63-0217 赤土曜	内外黒褐色、すずり骨、449
451	火曜	佐世	黒褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	H3-0327	線刻反
452	火曜	佐世	黒褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	65-0627 赤土曜	
453	火曜	佐世	黒褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	63-0497	
454	火曜	417	黒褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	H3-0327、H3-0327 赤土曜、H3-0497	線刻反
455	火曜	佐世	黒褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	63-0317 赤土曜	線刻反、内外表面に黒色いぼなしが縦刻、内 外黒褐色、線刻なしとある
456	火曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	63-0497	
457	火曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	63-0497 赤土曜	
458	火曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	63-0617 赤土曜	内外黒、黒褐色(いぼなし)
459	火曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	0337 赤土曜・線刻反	線刻反・黒褐色
460	火曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	63-0497 赤土曜	
461	火曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	66-0437 赤土曜	
462	火曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	66-04141 赤土曜	
463	火曜	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	66-03 赤土曜	
464	風船印が	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	64-0317 赤土曜	ヤササディック状の成、中、反成、すずり 骨、すずり骨なしとある
465	風船印が	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	63-0627 赤土曜	
466	風船印が	佐世	赤褐色、白色・赤色・黒色 粘土子白	64-0317	

出土遺物観察表 (30)

本丸地区①

第218回	466	火鉢	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	M7 0307 石製燗鍋	
	467	火鉢	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土。螺貝殻。片断含む	K1 0474 盛土層	
	468	火鉢	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	E3 0117 盛土層	内外両面黒褐色。サンディック状の腐蝕
	469	火鉢	在埋	灰黒黄褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	0447 表土	
	470	火鉢	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	36 0447 S26	内外両面黒褐色
	471	火鉢	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	H3 0497	
	472	火鉢	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土。螺貝殻含む	M3 0497 盛土層	
	473	鳥の彫刻	在埋	灰褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	M5 0317 S12	
	474	火鉢	在埋	灰黒黄褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	F3F3 0627 表土	内外両面黒褐色 (いぼし状)
	475	火鉢	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土。螺貝殻。片断含む	H3 0497	
第219回	476	火鉢	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	K6 04 表土	
	477	火鉢	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	H3 0497、L3 0497 表土	
	478	火鉢	在埋	深褐色。灰黒色。片断含む	K3 0317 表土	
	479	火鉢	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	H4 0317 盛土層	
	480	火鉢	在埋	灰褐色。白色・赤色・黒色粘土。螺貝殻含む	K3 0317 表土	
	481	火鉢	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	J5 0317 盛土層	
	482	火鉢	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土。螺貝殻。片断含む	H4 0497 盛土層	
	483	火鉢	41.2	在埋	K2 04 西成二溝燗鍋	
	484	火鉢	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	J5 0317 表土	内外両面黒褐色
	485	火鉢	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	J5 0317 表土	縦割部
第220回	486	火鉢	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	J5 0317 表土	縦割部
	487	火鉢	在埋	灰黒黄褐色。白色・赤色・黒色粘土。螺貝殻含む	05 荒出地口	縦割部。内外両面黒褐色 (いぼし状)
	488	火鉢	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	H4 0457 表土	縦割部
	489	火鉢	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土。螺貝殻含む	L3 0487 盛土層	縦割部
	490	火鉢	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土。螺貝殻含む	C6 0387 盛土層	
	491	磁鉢	12.8	在埋	D5 0317 盛土層	やや還元気味。覆り5cm。縁部内面使用した土と一致。片断含む
	492	磁鉢	在埋	黒色。白色・赤色・黒色粘土含む	L3 0497 盛土層	内面灰褐色。外周深褐色。縁部なし
	493	磁鉢	在埋	灰褐色。白色・赤色・黒色粘土。白色粉状物質少量含む	04 表層	内外両面黒褐色
	494	磁鉢	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	H3 0497	縦割部
	495	磁鉢	在埋	灰黒黄褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	M7 0367 石製燗鍋	縦割部なし
第221回	496	磁鉢	在埋	灰褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	M7 0367 石製燗鍋	縦割部なし
	497	磁鉢	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	L3 0317 表土	浅褐色褐色。縦割なし。縦割部
	498	磁鉢	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	C3 0317 盛土層	縦割。白く変色。F字付番。縦割あり
	499	磁鉢	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	J5 0317 表土	縦割なし
	500	磁鉢	在埋	灰褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	H4 0327 表土	縦割なし
	501	磁鉢	在埋	灰黒黄褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	K3 北成二石製燗鍋	両面黒褐色
	502	磁鉢	在埋	灰褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	09 0547 盛土層	還元気。縦割
	503	磁鉢	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	G0 0387 表土	縦割なし。外周すくなくないため。内周に灰褐色いぼし状
	504	磁鉢	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	J5 0547 表土	縦割あり。縦割部
	505	磁鉢	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	F3 0317 盛土層	縦割なし
第222回	506	磁鉢	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	G2 0617、G8 表土	縦割あり
	507	磁鉢	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	H4 0327 表土	縦割あり。縦割
	508	磁鉢	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	F2 0417 表土	縦割あり
	509	磁鉢	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	K4 0317 盛土層	縦割あり。内面黒褐色。外周褐色

出土遺物観察表 (31)

本丸地区②

第223回	510	磁鉢	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	0405 表土	縦割あり
	511	磁鉢	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	M7 0367 石製燗鍋	縦割2本。縦割あり
	512	磁鉢	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	M7 0367 石製燗鍋	511と同一。縦割4本
	513	磁鉢	在埋	灰黒黄褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	C6 0387 盛土層	縦割なし
	514	磁鉢	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	C6 0387 盛土層	
	515	土師器(土)	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	H3 0327	外周。白っぽく縦割あり。縦割
	516	土師器(土)	在埋	灰黒黄褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	K6 0347 盛土層	内外両面。外周に縦割
	517	土師器(土)	在埋	灰褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	H3 0327 S12	内外両面いぼし。縦割
	518	土師器(土)	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	D5 0317 盛土層	
	519	土師器(土)	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	H4 0327 S12、H4 0327 表土	
第224回	520	土師器(土)	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	H6 0417 表土	外周黒褐色。内面灰褐色
	521	土師器(土)	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	K6 0447 表土	
	522	土師器(土)	在埋	深褐色。白色・赤色・黒色粘土含む	F7 0617 表土	

調査番号	番号	種類	高さ (cm)	円径 (cm)	厚さ (cm)	石目	出土場所	備考
第225回	523	磁鉢	11.0	4.8	5	深褐色	K6 0347 P29	
	524	磁鉢	9.7	3.1	2.5	深褐色	05 西成土	ひざ跡あり
	525	磁鉢	9.3	3.1	2.3	深褐色	05 西成土	ひざ跡あり
	526	磁鉢	12	3.1	4.6	深褐色	C6 0397 石製燗鍋	
	527	磁鉢	8.3	3.1	3.7	深褐色	K4 0317 盛土層	
	528	磁鉢	4.9	2.3	1.8	深褐色	K6 0447 表土	
	529	磁鉢	6.1	2.2	1.8	深褐色	J5 0317 表土	
	530	磁鉢	2.8	2.9	2.3	深褐色	J5 0317 表土	
	531	磁鉢	2.4	2.1	1.4	深褐色	D5 0497 表土	
	532	磁鉢	6.2	3.1	2.1	深褐色	K6 0447 表土	ひざ跡なし
第226回	533	磁鉢	5	2.4	1.8	深褐色	M7 0487 表土	
	534	磁鉢	4.8	3.9	1.1	深褐色	K4 0317 盛土層	
	535	磁鉢	7.1	2.6	0.4	深褐色	H4 0327 S12	
	536	磁鉢	5.8	4.5	1	深褐色	J3 0497 盛土層	
	537	磁鉢	9.7	4.1	1.05	深褐色	北成二石製燗鍋	
	538	磁鉢	4.8	3.4	0.5	深褐色	G6 0451 表土	
	539	磁鉢(横割)	3.5	3.5	0.3	深褐色	D5 0317 盛土層	
	540	磁鉢	4.6	2	0.4	深褐色	H3 0327 表土	
	541	磁鉢	2.1	2.5	0.2	深褐色	K6 03 表土	
	542	磁鉢	8	1.7	0.5	深褐色	G6 0451 表土	
第227回	543	磁鉢	2	1.7	0.5	深褐色	K4 0317 盛土層	
	544	磁鉢	1.6	1.6	0.5	深褐色	H3 0497 盛土層	
	545	磁鉢	1.7	1.4	0.6	深褐色	K4 0317 盛土層	
	546	磁鉢	1.8	1.2	0.7	深褐色	D5 0317 盛土層	
	547	磁鉢	1.6	1.4	0.6	深褐色	G5 0327 表土	
	548	磁鉢	1.7	1.4	0.5	深褐色	H3 03 表土	
	549	磁鉢	1.8	1.6	0.3	深褐色	K4 0317 盛土層	
	550	磁鉢	1.8	1.6	0.6	深褐色	K4 0317 盛土層	
	551	土師器(土)	1.9	1.7	1.4	チャート	G6 0451 表土	
	552	土師器(土)	3.2	1.4	0.9	チャート	H3 0317 表土	
第228回	553	土師器(土)	2.1	1.7	0.6	チャート	K5 0487 表土	
	554	土師器(土)	1.9	1.4	0.5	チャート	0447 表土	
	555	土師器(土)	1.7	1.3	0.5	チャート	D4 04 表土	
	556	土師器(土)	2.2	1.7	1.6	チャート	G6 0421 表土	
	557	土師器(土)	1.9	1.8	1.4	チャート	K6 04 表土	
	558	土師器(土)	5.2	3.6	1.9	チャート	K3 0487 盛土層	
	559	土師器(土)	4.2	2.8	1.7	チャート	K6 0497 盛土層	
	560	土師器(土)	3.2	2.3	1.4	チャート	K3 0497 盛土層	
	561	土師器(土)	3.6	3.5	1.3	チャート	G5 0327 表土	

出土遺物観察表 (32)

本丸地区①

第 222 区	562	灰打石	2.7	2.2	0.9	チャート	G5 045T 黄土	
	563	灰打石	2.3	2.3	1.6	チャート	F5 062T 黄土	
	564	灰打石	2.7	2.5	0.8	チャート	E3 030T 黄土層	
	565	灰打石	2.8	2.2	2.2	チャート	J0 049T 黄土	
	566	灰打石	2.8	2.8	2.2	チャート	M5 031T 黄土層	
	567	灰打石	3	1.4	1.4	チャート	K6 041T 黄土	
	568	灰打石	2.1	1.3	0.6	チャート	K4 041T 黄土	
	569	灰打石	1.3	1.6	0.6	チャート	J0 049T 黄土	
	570	灰打石	1.3	1.4	0.6	チャート	K5 031T 黄土	
	571	灰打石	1.5	1.3	0.7	チャート	H4 032T 黄土	
第 222 区	572	灰打石	2	1.2	0.7	チャート	H9 032T 黄土	
	573	灰打石	1.8	1.1	0.65	チャート	044T 黄土	
	574	灰打石	1.3	1	0.3	チャート	044T 黄土	

図面番号	番号	種類	経度	緯度	出土場所	備考
第 222 区	575	灰打石	960 番	960 番	H2 023T 黄土	
	576	灰打石	H4 049T 黄土	H4 049T 黄土		
	577	灰打石	1036 番	1036 番	E6 041T 黄土層	
	578	灰打石	1408 番	1408 番	J3 049T 黄土	
	579	灰打石	1076 番	1076 番	047T 黄土	
	580	灰打石	1076 番	1076 番	K5 031T 黄土	
	581	灰打石	1086 番	1086 番	E5 031T 黄土層	
	582	灰打石	1094 番	1094 番	M5 031T 黄土	
	583	灰打石	1094 番	1094 番	K6 041T 黄土	
	584	灰打石	1396 番	1396 番	E5 031T 黄土層	
	585	灰打石	1408 番	1408 番	K6 041T 黄土	
	586	灰打石	1408 番	1408 番	K6 041T 黄土	
	587	灰打石	1408 番	1408 番	H4 032T 黄土	
	588	灰打石	1408 番	1408 番	K4 031T 黄土層	
	589	灰打石	1408 番	1408 番	E5 031T 黄土	
	590	灰打石	1408 番	1408 番	E5 031T 黄土	
	591	灰打石	1408 番	1408 番	E5 031T 黄土	
	592	灰打石	1408 番	1408 番	E5 031T 黄土	
	593	灰打石	1026 番	1026 番	K6 041T 黄土	
	594	灰打石	1408 番	1408 番	E5 031T 黄土	
	595	灰打石	1408 番	1408 番	M5 031T 黄土層	
	596	灰打石	07 061T 黄土	07 061T 黄土		
	597	灰打石	07 061T 黄土	07 061T 黄土		
	598	灰打石	07 061T 黄土	07 061T 黄土		
	599	灰打石	04 061T 黄土	04 061T 黄土		

図面番号	番号	種類	経度 (°E)	緯度 (°N)	高さ (cm)	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	材質	出土場所	備考
第 223 区	600	灰打石								輝石山石	E5 041T 黄土層	下口 観察用

図面番号	番号	種類	高さ (cm)	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	材質	出土場所	備考
第 223 区	601	灰打石 (一部)	10 以上	7.4 以上	1 (厚さ)	5		輝石山石	E5 031T 黄土層	
	602	灰打石	8.5 以上	5 以上	1.2 (厚さ)	5		輝石山石	E5 031T 黄土層	
	603	灰打石	8.5 以上	5 以上	1.2 (厚さ)	5		輝石山石	E5 031T 黄土層	

図面番号	番号	種類	高さ (cm)	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	材質	出土場所	備考
第 223 区	604	灰打石	31.5	26.5	9.9			輝石山石	K5 041T 黄土層	
	605	灰打石	24.4	19.6	13.4			輝石山石	K6 041T 黄土層	
	606	灰打石	34.6					輝石山石	K6 041T 黄土層	

図面番号	番号	種類	高さ (cm)	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	材質	出土場所	備考
第 223 区	607	灰打石	27	7.9	7.1			輝石山石	E5 041T 黄土層	
	608	灰打石	18.4	2.4	1.2	11.2	7.3	輝石山石	E5 041T 黄土層	
	609	灰打石	1	1.8	1.3	10.5	10.5	輝石山石	E5 041T 黄土層	
	610	灰打石	18.2	1.4	1.5	9.7	9.3	輝石山石	E5 041T 黄土層	
	611	灰打石	34	2.8	1.8	10.1	11	輝石山石	E5 041T 黄土層	
	612	灰打石	33.2	1.7	3.8	12.3	5.4	輝石山石	E5 041T 黄土層	
	613	灰打石	33.2	1	1	8	5.3	輝石山石	E5 041T 黄土層	
	614	灰打石	31	2.8	1	10.7	5.9	輝石山石	E5 041T 黄土層	
	615	灰打石	29	1.8	11.7	7.5		輝石山石	E5 041T 黄土層	
	616	灰打石	29	1.8	12.4	6.2		輝石山石	E5 041T 黄土層	
第 223 区	617	灰打石	29	5	0.6	8.8	7.5	輝石山石	E5 041T 黄土層	
	618	灰打石	30.4	3.6	1.1	9	5.1	輝石山石	E5 041T 黄土層	
	619	灰打石	30	2.3	10.3	5		輝石山石	E5 041T 黄土層	
	620	灰打石	29	3	0.7	11	9	輝石山石	E5 041T 黄土層	
	621	灰打石	25.5	2.2	10.6	6	7.1	輝石山石	E5 041T 黄土層	
	622	灰打石	28	1.8	9.9	7		輝石山石	E5 041T 黄土層	
	623	灰打石	17	15.4	8.8			輝石山石	E5 041T 黄土層	
	624	灰打石	31	0.8	6.4	4.4		輝石山石	E5 041T 黄土層	
	625	灰打石						輝石山石	E5 041T 黄土層	
	626	灰打石	3		9.6	4.8		輝石山石	E5 041T 黄土層	
第 223 区	627	灰打石	23.1	1.6	1.5	17	16.4	輝石山石	E5 041T 黄土層	

出土遺物観察表 (33)

本丸地区②

第 223 区	628	灰打石	27.6	2.8	0.7	10.9	8.8		輝石山石	E4 042T 黄土層	下口
	629	灰打石	37	24	1.6	8.5	7		輝石山石	K4 031T 黄土層	下口
	630	灰打石	31.2	1.4		6.5			輝石山石	E4 042T 黄土層	下口
	631	灰打石	31.6		0.7	6.5			輝石山石	K1 04 黄土層	下口
	632	灰打石	30.7		0.8	6.1	6.3		輝石山石	E5 041T 黄土層	下口

図面番号	番号	種類	高さ (cm)	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	材質	出土場所	備考
第 229 区	633	瓦葺石	10.2	19.5	19	100		輝石山石	K2 031T52 石葺直溝層	火輪 灰打石
	634	瓦葺石	28.1	28	18.8	11		輝石山石	M7 036T 石葺直溝層	火輪 灰打石
	635	瓦葺石	24	31	33.4	90		輝石山石	C6 03 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	636	瓦葺石	21.5	32.5	32.7	90		輝石山石	M7 036T 石葺直溝層	地輪 灰打石
	637	瓦葺石	71.1	38.5	34.8	80		輝石山石	K1 04 瓦葺石直溝層	地輪 灰打石
	638	瓦葺石	26.3	33.2	33	85		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	639	瓦葺石	23.4	30.2	30.1	85		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	640	瓦葺石	27.1	29	29	95		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	641	瓦葺石	27.6	27.6	27.3	95		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	642	瓦葺石	16.6	27.3	32.2	70		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
第 230 区	643	瓦葺石	10.4	16.3	17	98		輝石山石	K2 031T52 石葺直溝層	地輪 灰打石
	644	瓦葺石	18.7	25.2	25.6	85		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	645	瓦葺石	22	25.8	29.7	85		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	646	瓦葺石	21.3	27	27	95		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	647	瓦葺石	27.5	15.4	26.7	85		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	648	瓦葺石	17.6	25.1	25.8	98		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	649	瓦葺石	22.9	27.2	28.2	80		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	650	瓦葺石	21.3	21.9	27.6	75		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	651	瓦葺石	18.4	24.7	27.3	85		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	652	瓦葺石	19.5	25.5	24.7	95		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
第 231 区	653	瓦葺石	18.7	25.5	24.7	98		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	654	瓦葺石	18.5	20.9	21.4	98		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	655	瓦葺石	17.7	22.8	23.9	98		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	656	瓦葺石	14.3	10.6	27	95		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	657	瓦葺石	18.4	21.9	21.9	98		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	658	瓦葺石	16.4	23.4	23.9	98		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	659	瓦葺石	9.7	15	16.4	62		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	660	瓦葺石	18.8	25.2	26.4	98		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	661	瓦葺石	13.3	19.0	20.1	95		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	662	瓦葺石	16.7	25.1	25.9	95		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
第 232 区	663	瓦葺石	14.1	20.8	21.3	95		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	664	瓦葺石	18.3	22.8	22.1	95		輝石山石	M7 036T 石葺直溝層	地輪 灰打石
	665	瓦葺石	15.7	20.3	21.3	95		輝石山石	K2 031T52 石葺直溝層	地輪 灰打石
	666	瓦葺石	16.4	14.7	21.3	40		輝石山石	K2 031T52 石葺直溝層	地輪 灰打石
	667	瓦葺石	15.4	19.3	21	95		輝石山石	K2 031T52 石葺直溝層	地輪 灰打石
	668	瓦葺石	13.9	20.6	19.6	70		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	669	瓦葺石	15.4	19.3	21.7	97		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	670	瓦葺石	14.1	21.6	22.2	95		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	671	瓦葺石	17.9	23.5	23.5	95		輝石山石	K2 031T52 石葺直溝層	地輪 灰打石
	672	瓦葺石	6.9	16.5	16.2	60		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
第 232 区	673	瓦葺石	15.9	20	21.3	98		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	674	瓦葺石	18.3	21.9	24.8	98		輝石山石	K1 04 瓦葺石直溝層	地輪 灰打石
	675	瓦葺石	15.1	20.5	21.3	98		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	676	瓦葺石	17.8	21.9	21.3	75		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	677	瓦葺石	12.8	27.9	27.4	40		輝石山石	K1 04 瓦葺石直溝層	地輪 灰打石
	678	瓦葺石	13.6	21.4	23.9	98		輝石山石	K1 04 瓦葺石直溝層	地輪 灰打石
	679	瓦葺石	19.5	21.6	21.9	75		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	680	瓦葺石	15.1	29.7	19.7	70		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	681	瓦葺石	16.9	20.1	21.1	95		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	682	瓦葺石	14.5	20.9	21.1	60		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
第 233 区	683	瓦葺石	14.3	10.5	12.3	15 ~ 20		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	684	瓦葺石	13.4	18.5	19.8	90		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	685	瓦葺石	14	26.2	2.8	90		輝石山石	K2 041 壁石	地輪 灰打石
	686	瓦葺石	15.7	20.9	22.1	98		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	687	瓦葺石	16.5	21.2	21.6	80		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	688	瓦葺石	16.2	19.4	19.3	98		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
第 234 区	689	瓦葺石	14.8	20.3	20.2	98		輝石山石	K2 04 瓦葺石直溝層	地輪 灰打石
	690	瓦葺石	14.8	20.4	20.8	90		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	691	瓦葺石	13.8	20.4	19	90		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	692	瓦葺石	15.3	16	21.8	80		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	693	瓦葺石	13	16.6	15.6	90		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	694	瓦葺石	15.3	21.1	20.6	98		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
第 234 区	695	瓦葺石	15.3	20.4	14.5	60		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	696	瓦葺石	9	21.6	22.5	40		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	697	瓦葺石	15.4	20.2	21.4	80		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	698	瓦葺石	14.8	18.6	18.6	60		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	699	瓦葺石	14.1	13.1	18.6	50		輝石山石	K2 041T52	地輪 灰打石
	700	瓦葺石	19.2	13.2	14.5	30		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
第 234 区	701	瓦葺石	8.7	9.7	24.5	10		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石
	702	瓦葺石	11.5	7.2	11.5	10		輝石山石	E5 石葺直溝直溝層	地輪 灰打石

出土遺物観察表 (34)

本丸地区⑬

第 234 号	704	瓦輪縁	7.6	8.1	12.2	20	堺市山崎町	K2 04 西沢川土層	半輪	
	705	瓦輪山面	18.5	19.1	25.2	30	堺市山崎町	L7 0387 石段敷遺層	半輪	
	706	土輪	15.3	15.1	26.9	10	堺市山崎町	K2 04 西沢川土層	半輪	
	707	瓦輪山面	15.5	21.2	19.6	10	堺市山崎町	K 2 0 西沢川土層	半輪	
	708 ①	瓦輪山面	15.2	17.3	17.6	98	堺市山崎町	K2 04 西沢川土層	半輪 文字有り、胎線有り	
	708 ②	瓦輪山面	15.2	17.3	17.6	98	堺市山崎町	K2 04 西沢川土層	半輪 文字有り、胎線有り	
	708 ③	瓦輪山面	15.2	17.3	17.6	98	堺市山崎町	K2 04 西沢川土層	半輪 文字有り、胎線有り	
	708 ④	瓦輪山面	15.2	17.3	17.6	98	堺市山崎町	K2 04 西沢川土層	半輪 文字有り、胎線有り	
	709 ①	瓦輪山面	14.1	20.1	15.2	90	堺市山崎町	05 西沢川	半輪 文字有り、金糸埋込み	
	709 ②	瓦輪山面	14.1	20.1	15.2	90	堺市山崎町	05 西沢川	半輪 文字有り、金糸埋込み	
	709 ③	瓦輪山面	14.1	20.1	15.2	90	堺市山崎町	05 西沢川	半輪 文字有り、金糸埋込み	
	710 ①	瓦輪山面	8.2	6.6	9.4	90	堺市山崎町	D4 0417 土層	半輪 文字有り	
	710 ②	瓦輪山面	8.2	6.6	9.4	90	堺市山崎町	D4 0417 土層	半輪 文字有り	
	711	瓦輪縁	23	25.2	26.6	98	堺市山崎町	K1 04 西沢川土層	半輪 文字有り、胎線有り	
	712	瓦輪縁	16.5	23.5	23.9	90	堺市山崎町	K1 04 西沢川土層	半輪 文字有り、胎線有り	
	713	土輪縁	13.6	2.8	24.8	70	堺市山崎町	L7 0387 石段敷遺層	半輪 文字有り、胎線有り	
	714	土輪縁	16.2	22.2	21.8	98	堺市山崎町	K1 04 西沢川土層	半輪 文字有り、胎線有り	
	715	土輪縁	16.4	23.7	24.2	98	堺市山崎町	K1 04 西沢川土層	半輪 文字有り、胎線有り	
	716	土輪縁	14	20.6	19	90	堺市山崎町	K1 04 西沢川土層	半輪 文字有り	
	第 235 号	717	瓦輪縁	15.6	21.8	21.1	90	堺市山崎町	05 西沢川	半輪 文字有り、胎線有り
718		瓦輪縁	15.5	20.9	21.3	98	堺市山崎町	K1 04 西沢川土層	半輪 文字有り、胎線有り	
719		土輪縁	15.3	21.3	21.2	95	堺市山崎町	K1 04 西沢川土層	半輪 文字有り	
720		土輪縁	13.8	6.5	22.8	60	堺市山崎町	K1 04 西沢川土層	半輪 文字有り	
721		土輪縁	14.9	21.5	19.8	98	堺市山崎町	K1 04 西沢川土層	半輪 文字有り	
722		瓦輪山面	24.4	29	29	95	堺市山崎町	K2 04 西沢川土層	半輪 文字有り	
723		瓦輪山面	16.6	28.3	28.4	90	堺市山崎町	K1 04 西沢川土層	半輪 文字有り	
724		瓦輪山面	18.3	23	22.4	98	堺市山崎町	K1 04 西沢川土層	半輪 文字有り	
725		瓦輪山面	20.2	24.3	24.8	98	堺市山崎町	K1 04 西沢川土層	半輪 文字有り	
726		土輪	21.4	14.5	27.4	40	堺市山崎町	K1 04 西沢川土層	半輪 文字有り	
727		土輪	13.5	11.8	14.8	10	堺市山崎町	K2 04 西沢川土層	半輪 文字有り	
728		土輪	11.1	15.3	22.6	10	堺市山崎町	K1 04 西沢川土層	半輪 文字有り	
729		土輪	13.1	9.9	19.8	10	堺市山崎町	05 西沢川	半輪 文字有り	
730		土輪	12.8	11.8	9.3	10	堺市山崎町	G6 0357	半輪 文字有り	
731		瓦輪山面	15.3	14.8	7.6	5	堺市山崎町	K1 04 西沢川土層	半輪 文字有り	
732		瓦輪山面	12.5	8.3	6.4	5	堺市山崎町	K2 04 西沢川土層	半輪 文字有り	
733		瓦輪山面	5.9	16.8	16.6	10	堺市山崎町	04 西沢川	半輪 文字有り	
734		瓦輪山面	3.5	6.2	13.9	3	堺市山崎町	K1 04 西沢川土層	半輪 文字有り	
第 236 号		735	瓦輪山面	5.2	3	10	3	堺市山崎町	K1 04 西沢川土層	半輪 文字有り
		736	瓦輪山面	6.5	10.7	3	3	堺市山崎町	K1 04 西沢川土層	半輪 文字有り
	737	瓦輪山面	12.9	6.5	11.4	5	堺市山崎町	05 西沢川	半輪 文字有り	
	738	瓦輪山面	10.1	7.9	11.1	5	堺市山崎町	04 西沢川	半輪 文字有り	
	739	瓦輪山面	6.1	11.2	5.9	10	堺市山崎町	D6 0417 土層	半輪 文字有り	
	740	土輪	12.8	6.4	10.6	5	堺市山崎町	04 西沢川	半輪 文字有り	
	741	土輪	9.8	7.5	9.2	5	堺市山崎町	K4 0311 0502 石段敷遺層	半輪 文字有り	
	742	瓦輪山面	22	38	38	40	堺市山崎町	K1 04 西沢川土層	半輪 文字有り	
	743	瓦輪山面	27.8	40.8	40.8	90	堺市山崎町	K1 0311 0502 石段敷遺層	半輪 文字有り	
	744	瓦輪山面	12.3	31.7	31.7	95	堺市山崎町	K1 04 西沢川土層	半輪 文字有り	
	745	瓦輪山面	9.2	36.1	36.1	98	堺市山崎町	K1 04 西沢川土層	半輪 文字有り	
	746	土輪	23.2	10.5	17.3	20	堺市山崎町	K1 0311 0502 石段敷遺層	半輪 文字有り	
第 237 号	747	土輪	16.4	7.8	14.7	10	堺市山崎町	05 西沢川	半輪 文字有り	
	748	土輪	9.6	14	16.4	10	堺市山崎町	K1 04 西沢川土層	半輪 文字有り	
	749	土輪	12.2	7.9	18.2	10	堺市山崎町	K6 0417 土層	半輪 文字有り	
	750	土輪	16.3	10.1	16.3	10	堺市山崎町	K1 04 西沢川土層	半輪 文字有り	
	751	土輪	23.4	12.9	13	30	堺市山崎町	K1 04 西沢川土層	半輪 文字有り	
	752	土輪	14.4	11.2	15	10	堺市山崎町	K6 0417 土層	半輪 文字有り	
	753	土輪	15.8	9.3	18	10	堺市山崎町	K2 04 西沢川土層	半輪 文字有り	
	754	土輪	10.8	12.2	24.9	10	堺市山崎町	K1 03 西沢川	半輪 文字有り	

図面番号	品名	種別	長さ(mm)	巾(mm)	厚さ(mm)	出土場所	備考
755	土輪	9.6	6.6	6.6	0.6	M6 0357 土層	
756	土輪	8.3	6.3	6.3	0.7	K6 0407 土層	
757	土輪	8	0.6	0.6	0.6	04 西沢川土層下層	
758	土輪	6.3	0.7	0.7	0.7	M6 0357 土層	
759	土輪	6.5 以上	0.6	0.6	0.6	K1 04 西沢川土層	
760	土輪	6.2	0.6	0.6	0.6	K6 0417 土層	
761	土輪	6.5	0.7	0.7	0.7	H4 0337	
762	土輪	6.3	0.5	0.5	0.5	K2 0311 0502 石段敷遺層	
763	土輪	6.3	0.5	0.5	0.5	K2 0417 土層	
764	土輪	6	0.7	0.7	0.7	K4 0311 土層	
765	土輪	5.4	0.7	0.7	0.7	H5 0215X30	
766	土輪	5.6 以上	0.7	0.7	0.7	K1 04 西沢川土層	
767	土輪	5.7	0.6	0.6	0.6	H5 0317 土層	
768	土輪	4.5	0.5	0.5	0.5	K6 0417 土層	
769	土輪	4.6	0.6	0.6	0.6	K2 0417 土層	
770	土輪	4.8	0.8	0.8	0.8	M5 0405 土層	
771	土輪	4.5	0.5	0.5	0.5	K2 04 西沢川土層	
772	土輪	3.7	0.4	0.4	0.4	K6 0417 土層	
773	土輪	4	0.55	0.55	0.55	K6 0417	

出土遺物観察表 (35)

本丸地区⑭

図面番号	品名	種別	長さ(mm)	巾(mm)	厚さ(mm)	出土場所	備考
774	土輪	3.9	0.4	0.4	0.4	K4 0407 土層	
775	土輪	4.6	0.7	0.7	0.7	K6 0407 土層	
776	土輪	0.55	0.55	0.55	0.55	K4 0311 土層	
777	土輪	0.7	0.7	0.7	0.7	E5 0317	
778	土輪	3.2	0.5	0.5	0.5	K4 0311 土層	
779	土輪	2.8	0.45	0.45	0.45	K4 0311 土層	
780	土輪	2.8	0.45	0.45	0.45	K4 0311 土層	
781	土輪	3.1 以上	0.3	0.3	0.3	E5 0317 土層	
782	土輪	5.5 以上	0.9	0.9	0.9	K6 0417 土層	
783	土輪	2.5	0.9	0.9	0.9	K2 0311 土層	
784	土輪	2.7	7.5 以上	0.9	0.9	K2 0311 土層	
785	土輪	2.5	6.9	0.4	0.4	G3 0407 土層	
786	土輪	6.8	1.2	1.1	1.1	K6 0407 土層	
787	土輪	9.2 以上	1.7	0.65	0.65	K6 0417 土層	
788	土輪	2.5	0.6	0.3	0.3	M4 0417 土層	
789	土輪	17.0 以上	1.2	0.3	0.3	E5 0317	
790	土輪	19.9	1.2 以上	0.1 以上	0.1 以上	K4 0311 土層	
791	土輪	10.1 以上	1.5	0.7	0.7	E5 0317 土層	
792	土輪	3.3	0.9	0.9	0.9	K2 0311 土層	
793	土輪	5.8	1.3	0.1	0.1	E5 0317 土層	
794	土輪	3.2 以上	1.3	0.1	0.1	E4 01 北沢川土層	
795	土輪	2.2	1.3	1.1	1.1	K6 0317 土層	
796	土輪	14 以上	1.1	1.1	1.1	K4 03 土層	
797	土輪	5.8 以上	1.1	1.1	1.1	E5 0317	
798	土輪	3.2 以上	0.8	0.8	0.8	H6 0417 土層	
799	土輪	1.2	1.2	1.2	1.2	E5 0317 土層	
800	土輪	1.1	1.1	1.1	1.1	E5 0317 土層	
801	土輪	1.8	1.4	0.6	0.6	E5 0317 土層	
802	土輪	0.8	0.8	0.8	0.8	E5 0317 土層	
803	土輪	1.6	1.6	0.8	0.8	E5 0317 土層	
804	土輪	1.2	1.2	1.2	1.2	K6 0417 土層	
805	土輪	1.2	1.2	1.2	1.2	K6 0417 土層	

図面番号	品名	種別	長さ(mm)	巾(mm)	厚さ(mm)	出土場所	備考
806	土輪	—	—	—	—	K2 03 石段敷遺層	
807	土輪	—	—	—	—	E5 0317 土層	
808	土輪	—	—	—	—	M3 0417 土層	
809	土輪	—	—	—	—	K4 0407 土層	
810	土輪	—	—	—	—	K4 0311 土層	
811	土輪	—	—	—	—	K4 0311 土層	
812	土輪	—	—	—	—	E5 0317 土層	
813	土輪	—	—	—	—	E5 0317 土層	
814	土輪	—	—	—	—	E5 0317 土層	
815	土輪	—	—	—	—	E5 0317 土層	

図面番号	品名	種別	長さ(mm)	巾(mm)	厚さ(mm)	出土場所	備考
816	土輪	8.3	5.6	1.6	1.6	在位	青灰色。白色、赤色、黒色粘土を含む
817	土輪	8	5.9	1.9	1.9	在位	青灰色。白色、赤色、黒色粘土を含む
818	土輪	10.2	5.6	1.6	1.6	在位	白色、赤色、黒色粘土を含む
819	土輪	11.6	7.4	1.7	1.7	在位	白色、赤色、黒色粘土を含む
820	土輪	8.8	5.4	2	2	在位	白色、赤色、黒色粘土を含む
821	土輪	5	6	1.6	1.6	在位	白色、赤色、黒色粘土を含む
822	土輪	11.2	8	2.7	2.7	在位	白色、赤色、黒色粘土を含む
823	土輪	10	5.8	3	3	在位	白色、赤色、黒色粘土を含む
824	土輪	10.6	6.2	2.6	2.6	在位	白色、赤色、黒色粘土を含む
825	土輪	8.6	5.8	1.9	1.9	在位	白色、赤色、黒色粘土を含む
826	土輪	4.8				在位	灰白色に赤色、黒色、白色粘土を含む
827	土輪	1.9				在位	灰白色に赤色、白色粘土を含む
828	土輪	2				在位	灰白色に赤色、白色、赤色、黒色粘土を含む
829	土輪	2.3				在位	灰白色に赤色、白色、赤色、黒色粘土を含む
830	土輪	8.6	6.4	1.1	1.1	在位	白色、赤色、黒色粘土を含む
831	土輪	10.8				在位	白色、赤色、黒色粘土を含む
832	土輪	7.8				在位	白色、赤色、黒色粘土を含む
833	土輪	7.8				在位	白色、赤色、黒色粘土を含む
834	土輪	10.5	5.4	2.3	2.3	在位	灰白色

出土遺物観察表 (36)

本丸地区①

第 240 回	835	取瓶 (かわらけ製)	7.7	4.9	1.6	灰褐色	G6 0451SK28	内面灰褐色 (還元化、薄く剥離)。金銀装飾 (心付)
	836	取瓶 (かわらけ製)	9.8	5.6	2.2	灰褐色、灰色、黒色粒子含む	G6 0451SK30	内面灰褐色。内面2層灰褐色、外底灰褐色。内面灰褐色、一部剥離。還元化、剥離、灰褐色
	837	取瓶 (かわらけ製)	6.4			灰褐色、灰色、黒色粒子含む	G6 0451SK30	
	838	取瓶 (かわらけ製)	5.1			灰褐色、灰色、黒色粒子含む	G6 0451 素土	内面灰褐色、一部剥離。還元化、剥離、灰褐色
	839	なつば	8			灰色、灰色、黒色粒子含む	K4 0311T 素土層	内面灰褐色、若干剥離。内面灰褐色、剥離

図面番号	番号	種類	長さ	幅	厚さ	直径	出土場所	備考
第 240 回	841	口					在池	05 本丸西側土層
	842	口					在池	05 本丸西側土層
	843	口					在池	05 本丸西側土層
	844	口					在池	05 本丸西側土層

図面番号	番号	種類	長さ	幅	厚さ	直径	出土場所	備考
第 241 回	945	縄文土層					H4 0327	内面灰褐色、縦線あり
	946	縄文土層					H4 0327	内面灰褐色、縦線あり
	947	縄文土層					H4 0327	内面灰褐色、縦線あり
	948	縄文土層					H4 0327SK	内面灰褐色、縦線あり
	949	縄文土層					G6 0381 素土層	縦線 a, b
	950	縄文土層					K4 0311T 素土	縦線 a, 浮彫
	951	縄文土層					H5 0317SK30	縦線 c, d
	952	縄文土層					H4 0327SK	
	953	縄文土層					H5 0327SK4	中層
	954	縄文土層					H5 0317SK30	中層
	955	縄文土層					05 西側土層	中層
	956	縄文土層					K1 04 西側土層	中層
	957	縄文土層					0405 本丸	中層
	958	縄文土層					H6 0417T 素土	中層
	959	縄文土層					F5 0311T 素土層	中層
	960	縄文土層					G5 0317SK1	中層
	961	縄文土層					H1 0327	中層
	962	縄文土層					H5 0311T	中層
	963	縄文土層					05 0317T 素土	中層
	964	縄文土層					H6 0417T	中層
	965	縄文土層					04 17T 素土	中層
	966	縄文土層					H6 0417T 素土層	中層
	967	縄文土層					H6 0417T 素土	中層
	968	縄文土層					05 西側土層	中層
	969	縄文土層					H3 0407 素土層	中層
	970	縄文土層					05 西側土層	中層
	971	縄文土層					M3 0407 素土層	中層
	972	縄文土層					G6 0451 素土	中層
	973	縄文土層					05 西側土層	中層
	974	縄文土層					H6 0417T 素土	中層
	975	縄文土層					H6 0417T 素土	中層
	976	縄文土層					05 西側土層	中層
	977	縄文土層					H5 0317SK9	中層
	978	縄文土層					H6 0417T 素土	中層
	979	縄文土層					H6 0417T 素土層	中層
	980	縄文土層					04 本丸	中層
	981	縄文土層					05 西側土層	中層
	982	縄文土層					G4 0451T 素土層	中層
	983	縄文土層					K1 04 西側土層	中層
	984	縄文土層					H5 0417T 素土層	中層
	985	縄文土層					05 西側土層	中層
	986	縄文土層					K4 03 17T 素土	中層
	987	縄文土層					H5 0317SK9	中層
	988	縄文土層					05 西側土層	中層
	989	縄文土層					G5 0311T 素土層	中層
	990	縄文土層					H5 0417T 素土	中層
	991	縄文土層					H5 0317T 素土	中層
	992	縄文土層					H5 0317T 素土	中層
	993	縄文土層					05 本丸西側土層	中層
	994	縄文土層					H6 0417T 素土	中層
	995	縄文土層					H6 0417T 素土	中層
	996	縄文土層					04 本丸	中層
	997	縄文土層					05 西側土層	中層
	998	縄文土層					H6 0327T 素土	中層
	999	縄文土層					H5 0417T 素土	中層
	1000	縄文土層					04 本丸	中層
	1001	縄文土層					05 本丸西側土層	中層
	1002	縄文土層					H4 0327	中層
	1003	縄文土層					05 西側土層	中層
	1004	縄文土層					05 0417T	中層
	1005	縄文土層					H5 0317SK9	中層
	1006	縄文土層					H5 0327T 素土	中層

出土遺物観察表 (37)

本丸地区②

第 242 回	907	縄文土層					05 西側土層	中層
	908	縄文土層					G5 0317 素土	中層
	909	縄文土層					05 西側土層	中層
	910	縄文土層					G4 0451T 素土	中層
	911	縄文土層					04、05 本丸	中層
	912	縄文土層					K1 04 西側土層	中層
	913	縄文土層					G6 0451T 素土層	中層
	914	縄文土層					04 本丸	中層
	915	縄文土層					H6 0415T 素土	中層
	916	縄文土層					H5 0415T 素土	中層
	917	縄文土層					K4 0311T 素土層	中層
	918	縄文土層					04 本丸	中層
	919	縄文土層					0417T 素土	中層
	920	縄文土層					G4 0451T	中層
	921	縄文土層					05 西側土層	中層
	922	縄文土層					H4 0327SK9	中層
	923	縄文土層					05 本丸	中層
	924	縄文土層					H5 0327SK4	中層
	925	縄文土層					05 0317T 西側土層	中層
	926	縄文土層					05 0317T 西側土層	中層
	927	縄文土層					04 本丸	中層
	928	縄文土層					04 本丸	中層
	929	縄文土層					04 本丸	中層
	930	縄文土層					04 本丸	中層
	931	縄文土層					04 本丸	中層
	932	縄文土層					04 本丸	中層
	933	縄文土層					04 本丸	中層
	934	縄文土層					04 本丸	中層
	935	縄文土層					04 本丸	中層
	936	縄文土層					04 本丸	中層
	937	縄文土層					05 0311T	中層
	938	縄文土層					05 西側土層	中層
	939	縄文土層					05 西側土層	中層
	940	縄文土層					05 0317T 素土	中層
	941	縄文土層					04 本丸	中層
	942	縄文土層					04 本丸	中層
	943	縄文土層					04 本丸	中層
	944	縄文土層					05 0317SK1	中層
	945	縄文土層					05 0422T 素土	中層
	946	縄文土層					05 西側土層	中層
	947	縄文土層					M3 0407 素土層	中層
	948	縄文土層					H6 0415T 素土	中層
	949	縄文土層					H5 0311T 素土	中層
	950	縄文土層					H6 0415T 素土	中層
	951	縄文土層					04 本丸	中層
	952	縄文土層					04 本丸	中層
	953	縄文土層					H4 0407 素土	中層
	954	縄文土層					04 本丸	中層
	955	縄文土層					05 西側土層	中層
	956	縄文土層					05 西側土層	中層
	957	縄文土層					05 0311T 素土層	中層
	958	縄文土層					H4 0327T 素土	中層

図面番号	番号	種類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	出土場所	材質	備考
第 243 回	959	打製石	13	5.7	2.6	05 西側土層	黒色頁岩	刀削不備
	960	打製石	11.6	5.6	2.3	K2 04 西側土層	黒色頁岩	
	961	打製石	9	4.3	2.3	05 西側土層	黒色頁岩	
	962	打製石	10.4	5	1.3	F5 0311T 素土層	黒色頁岩	磨削あり
	963	打製石	9.4	4.6	1.2	04 本丸	黒色頁岩	
	964	打製石	7.2 以上	3.8	1.6	05 西側土層	黒色頁岩	
	965	打製石	5.3 以上	4.2	1.6	05 西側土層	黒色頁岩	
	966	打製石	6.7	4.5	1.6	04 本丸	黒色頁岩	
	967	打製石	8	4.3	1.8	H5 0457T 素土	黒色頁岩	
	968	打製石	6.9 以上	7.4	1.6	H5 0457T 素土	黒色頁岩	
	969	打製石	5.7	5.3	1.6	F5 0311T 素土層	黒色頁岩	
	970	打製石	6.9 以上	4.5	1.6	H5 0311T 素土	黒色頁岩	先鋭欠損
	971	打製石	6.9 以上	5.2	1.3	04 本丸	黒色頁岩	
	972	打製石	5.3 以上	4.5	1.6	H4 0457T 素土	黒色頁岩	
	973	打製石	4.1	5.8	0.9	H4 0327T 素土	黒色頁岩	
	974	打製石	4.3 以上	4	1.6	G7 0417T 素土	黒色頁岩	
	975	打製石	1.9 以上	3.6	1.9	04 本丸	黒色頁岩	磨削あり
	976	打製石	3 以上	4.4	1.1	04 本丸	黒色頁岩	
	977	打製石	4.1	5	0.8	04 本丸	黒色頁岩	
	978	打製石	12.2	7.7	4.3	04 本丸	黒色頁岩	
	979	打製石	1.8	1.4	0.3	04 本丸	黒色頁岩	
	980	打製石	2.2	1.8	0.3	04 本丸	黒色頁岩	
	981	打製石	1.9	1.4	0.2	04 本丸	黒色頁岩	
	982	打製石	1.4 以上	1.8	0.2	H4 0317SK2	黒色頁岩	

出土遺物觀察表 (38)

第 245 团	983	石磨	1	2.9	0.4	本丸石磨	黑色页岩	
	994	石磨	2.3	1.8	0.4	BQ11 磨上	黑色页岩	
	985	石磨	2.2	1.4	0.3	本丸石磨	黑色页岩	
	986	石磨	1.8	1.5	0.3	本丸石磨	黑色页岩	

出土場所の「西貢」は蘭村前説・清津島監獄地区の蘭

御前曲輪西虎口、御前曲輪・通仲曲輪間地区①

観音番号	形状	径長 (mm)	口径 (cm)	重量 (g)	形状	胎土	土質分析	備考
1	花瓶、底				中国産 白粉	白粉土	白粉土	①底、背、肩面図あり
2	罐頭				焼成、黄赤	赤土	赤土	大瓶1、内外瓦紋動
3	罐頭				土片足 赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
4	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
5	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
6	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
7	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
8	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
9	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
10	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
11	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
12	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
13	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
14	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
15	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
16	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
17	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
18	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
19	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
20	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
21	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
22	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
23	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
24	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
25	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
26	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
27	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
28	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
29	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
30	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
31	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
32	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
33	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
34	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
35	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
36	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
37	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
38	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
39	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
40	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
41	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
42	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
43	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
44	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
45	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
46	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
47	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
48	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
49	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
50	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
51	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
52	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
53	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
54	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
55	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
56	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
57	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
58	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
59	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
60	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
61	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
62	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
63	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
64	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
65	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
66	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
67	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
68	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
69	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
70	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
71	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
72	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
73	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
74	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
75	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
76	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
77	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
78	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
79	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
80	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
81	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
82	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
83	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
84	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
85	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
86	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
87	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
88	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
89	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
90	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
91	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
92	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
93	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
94	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
95	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
96	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
97	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
98	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
99	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4
100	罐頭				赤土褐色、内白色点々有	赤土	赤土	大瓶4

图例符号	备注	说明	图例符号	备注	说明
20	60°冲沟		960	冲沟	冲沟
21	冲沟			冲沟	冲沟
22	冲沟			冲沟	冲沟
23	冲沟			冲沟	冲沟
24	冲沟			冲沟	冲沟
25	冲沟			冲沟	冲沟
26	冲沟			冲沟	冲沟
27	冲沟			冲沟	冲沟

試管番号	母竹	経法	葉長 (cm)	葉幅 (cm)	葉の長さ (cm)	葉の幅 (cm)	葉の長さ (cm)	葉の幅 (cm)	石	出土場所	備考
第25号	28	日北	19	3.2	0.4	—	10.6	—	横石山山内	西側に草屋裏	上中
	29	日北	31	4.5	1	7.8	4.2	—	横石山山内	西側に草屋裏	上中
	30	日北	34	—	—	7.4	7.4	—	横石山山内	西側に草屋裏	上中
	31	日北	29.7	1.2	1.4	0.8	1.2	—	横石山山内	西側に草屋裏	上中
	32	日北	30.6	1.8	1.3	14.5	12.3	—	横石山山内	西側に草屋裏	下段、母竹並に丸葉有り

姓名	组别	身高	体重	胸围	肩宽	臂长	握力	握距	握姿
33	五强组	25.5	35	34.8	95	角段内(角)上	内角(内)直握	内角(内)直握	内角(内)直握
34	五强组	20.5	22.5	22.8	50	角段内(角)上	内角(内)直握	内角(内)直握	内角(内)直握
35	五强组	20.5	21.5	23.6	70	角段内(角)上	内角(内)直握	内角(内)直握	内角(内)直握
36	五强组	16.7	19.4	24.1	80	角段内(角)上	内角(内)直握	内角(内)直握	内角(内)直握
37	五强组	18.4	26.3	26.4	95	角段内(角)上	内角(内)直握	内角(内)直握	内角(内)直握
38	五强组	20.6	28.3	27.1	60	角段内(角)上	内角(内)直握	内角(内)直握	内角(内)直握
39	五强组	20.8	24.6	25.6	95	角段内(角)上	内角(内)直握	内角(内)直握	内角(内)直握
40	五强组	16.2	17.3	18.1	50	角段内(角)上	内角(内)直握	内角(内)直握	内角(内)直握
41	五强组	26.2	24.2	24.4	95	角段内(角)上	内角(内)直握	内角(内)直握	内角(内)直握
42	五强组	18	23.5	23.8	90	角段内(角)上	内角(内)直握	内角(内)直握	内角(内)直握
43	五强组	17.8	24.7	24.7	100	角段内(角)上	内角(内)直握	内角(内)直握	内角(内)直握
44	五强组	15.5	22.1	22.7	90	角段内(角)上	内角(内)直握	内角(内)直握	内角(内)直握
45	五强组	14.4	19.8	22.2	60	角段内(角)上	内角(内)直握	内角(内)直握	内角(内)直握
46	五强组	16.2	19.4	20.7	70	角段内(角)上	内角(内)直握	内角(内)直握	内角(内)直握
47	五强组	16.3	26.3	23.4	95	角段内(角)上	内角(内)直握	内角(内)直握	内角(内)直握
48	五强组	16.6	23.9	23.9	75	角段内(角)上	内角(内)直握	内角(内)直握	内角(内)直握
49	五强组	13.6	18.8	19.7	90	角段内(角)上	内角(内)直握	内角(内)直握	内角(内)直握
50	五强组	6.8	13.8	14.9	30	角段内(角)上	内角(内)直握	内角(内)直握	内角(内)直握
51	五强组	9.6	11.7	13.5	10	角段内(角)上	内角(内)直握	内角(内)直握	内角(内)直握
52	五强组	7.2	1.8	24.9	45	角段内(角)上	内角(内)直握	内角(内)直握	内角(内)直握
53	五强组	16.3	25.8	26.3	90	角段内(角)上	内角(内)直握	内角(内)直握	内角(内)直握
54	五强组	16.9	21.1	20.5	100	角段内(角)上	内角(内)直握	内角(内)直握	内角(内)直握
55	五强组	15.5	23	25.7	90	角段内(角)上	内角(内)直握	内角(内)直握	内角(内)直握
56	五强组	11.4	1.8	20.5	100	角段内(角)上	内角(内)直握	内角(内)直握	内角(内)直握
57	五强组(女)	7.8	1.8	22.6	30	角段内(角)上	内角(内)直握	内角(内)直握	内角(内)直握
58	五强组	13.2	15.5	23.5	85	角段内(角)上	内角(内)直握	内角(内)直握	内角(内)直握
59	五强组	16.7	20.9	20.9	92	角段内(角)上	内角(内)直握	内角(内)直握	内角(内)直握

出土遺物觀察表 (39)

御前曲輪西虎口、御前曲輪・通仲曲輪間地区②

第 27 回	60	五郎崎	12.7	20.8	87	奥野村山崎	西郷村山崎	山崎
	61	五郎崎	6.2	16.6	14.6	80	奥野村山崎	西郷村山崎
	62	五郎崎	14.3	21.4	25.7	80	奥野村山崎	西郷村山崎
	63	五郎崎	13.1	18.1	19.4	80	奥野村山崎	西郷村山崎
	64	五郎崎	10.7	16.1	25.3	80	奥野村山崎	西郷村山崎
	65	五郎崎	7.8	23.5	23.6	80	奥野村山崎	西郷村山崎
	66	五郎崎	15.8	21.1	23.6	85	奥野村山崎	西郷村山崎
	67	五郎崎	13.8	17.2	24.2	82	奥野村山崎	西郷村山崎
	68	五郎崎	15.9	24.8	23.6	70	奥野村山崎	西郷村山崎
	69	五郎崎	11.8	17.2	17.7	95	奥野村山崎	西郷村山崎
第 28 回	69-1	五郎崎	11.8	17.2	17.7	95	奥野村山崎	西郷村山崎
	69-2	五郎崎	11.8	17.2	17.7	95	奥野村山崎	西郷村山崎
	69-3	五郎崎	11.8	17.2	17.7	95	奥野村山崎	西郷村山崎
	70	五郎崎	10.8	15.9	21	60	奥野村山崎	西郷村山崎
	71	五郎崎	2.2	19.7	16	40	奥野村山崎	西郷村山崎
	72	五郎崎	14.5	18	19	90	奥野村山崎	西郷村山崎
	73	五郎崎	9.2	14.1	18.1	45	奥野村山崎	西郷村山崎
	74	五郎崎	10.9	15.8	19.4	50	奥野村山崎	西郷村山崎
	75	五郎崎	20.1	13.2	20.8	80	奥野村山崎	西郷村山崎
	76	五郎崎	13.6	17.6	20.3	50	奥野村山崎	西郷村山崎
第 29 回	77	五郎崎	10.4	16.5	14.9	80	奥野村山崎	西郷村山崎
	77-1	五郎崎	10.4	16.5	14.9	80	奥野村山崎	西郷村山崎
	77-2	五郎崎	10.4	16.5	14.9	80	奥野村山崎	西郷村山崎
	78	五郎崎	8.2	13.1	17.9	40	奥野村山崎	西郷村山崎
	79	五郎崎	7	9.4	16.3	40	奥野村山崎	西郷村山崎
	80	五郎崎	11	11.3	14.4	80	奥野村山崎	西郷村山崎
	81	五郎崎	7	13.5	15.8	70	奥野村山崎	西郷村山崎
	82	五郎崎	10.6	15.1	17.3	70	奥野村山崎	西郷村山崎
	83	五郎崎	8.6	9.4	11.5	80	奥野村山崎	西郷村山崎
	84	五郎崎	4.2	5.1	12.9	20	奥野村山崎	西郷村山崎
第 30 回	85	五郎崎	7.7	6.8	10.9	10	奥野村山崎	西郷村山崎
	86-1	五郎崎	14.7	16.6	16.7	75	奥野村山崎	西郷村山崎
	86-2	五郎崎	14.7	16.6	16.7	75	奥野村山崎	西郷村山崎
	86-3	五郎崎	14.7	16.6	16.7	75	奥野村山崎	西郷村山崎
	86-4	五郎崎	14.7	16.6	16.7	75	奥野村山崎	西郷村山崎
	87	五郎崎	17.1	18.3	19.5	95	奥野村山崎	西郷村山崎
	88-1	五郎崎	14.3	14.7	14.8	80	奥野村山崎	西郷村山崎
	88-2	五郎崎	14.3	14.7	14.8	80	奥野村山崎	西郷村山崎
	88-3	五郎崎	14.3	14.7	14.8	80	奥野村山崎	西郷村山崎
	88-4	五郎崎	14.3	14.7	14.8	80	奥野村山崎	西郷村山崎

通仲曲輪地区①

調査番号	番号	資料	口径 (cm)	高さ (cm)	形状	胎土	番号
第 264 期	1	黄銅・銀目			白色	C 17 土器	15C 中
	2	白銅・黒	8.2		白色	C 17 土器	15 胎土
	3	白銅・黒			白色	C 17 土器	15 胎土
	4	白銅・黒			白色	C 17 土器	15 胎土
	5	白銅・黒			白色	C 17 土器	15 胎土
	6	白銅・黒			白色	C 17 土器	15 胎土
	7	白銅・黒			白色	C 17 土器	15 胎土
	8	白銅・黒			白色	C 17 土器	15 胎土
	9	白銅・黒			白色	C 17 土器	15 胎土
	10	白銅・黒			白色	C 17 土器	15 胎土

出土遺物観察表 (40)

通曲仲輪地区②

第 264 区	13	かわらけ	8.8		在池	黄赤褐色、白色・赤色、黒色粘土含む	C2 17 盛土層	
	14	かわらけ	11.6	6.9	2.7	在池	黄赤褐色、白色・赤色、黒色粘土含む、黒色炭灰	C3 87 表土
	15	かわらけ	10.3			在池	白色	C3 21 表土
	16	かわらけ	7.8	4.7	1.9	在池	赤褐色、白色・赤色、黒色粘土含む	27 盛土層
	17	かわらけ	4.7			在池	黄赤褐色、白色・赤色、黒色粘土含む	41 表土
	18	かわらけ	5.1			在池	黄赤褐色、白色・赤色、黒色粘土含む	C2 17 盛土層
	19	内瓦土層	33.8			在池	黄赤褐色、白色・赤色、黒色粘土含む	C2 17 盛土層
	20	内瓦土層				在池	黄赤褐色、白色・赤色、黒色粘土含む	C3 17 表土
	21	板石	12.1	2.8	2.8	(表)	(表)	C3 17 表土
	22	内瓦土層				在池	黄赤褐色、白色・赤色、黒色粘土含む	C3 17 表土
	23	内瓦土層				在池	黄赤褐色、白色・赤色、黒色粘土含む	C3 17 表土
	24	内瓦土層				在池	黄赤褐色、白色・赤色、黒色粘土含む	41 表土
第 265 区	25	板石				在池	白色・赤色・黒色粘土含む、黒色炭灰含む	41 表土
	26	板石				在池	白色・赤色・黒色粘土含む	C3 17 表土
	27	土	3.1	6.3	6.3	(表)	(表)	C2 17 盛土層
	28	土				在池	黄赤褐色、白色・赤色、黒色粘土含む	C2 17 表土
	29	土				在池	黄赤褐色、白色・赤色、黒色粘土含む	C2 17 表土

調査番号	番号	種類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	材質	出土場所	備考
第 264 区	29	土	15.8	20.1	20.1	20	角形石山山	出土場所
	30	土	14.8	15.2	15.2	60	角形石山山	出土場所

06 三の丸・蔵屋敷地区①

第 275 区	1	白磁	12	6.6	2.8	40	三の丸 G5 17 盛土層	C1 層
	2	土				内瓦土層	三の丸 G5 表土	自然物、赤い砂り骨り
	3	土				内瓦土層	三の丸 G5 表土	自然物、赤い砂り骨り
	4	かわらけ	8.8	6	1.6	在池	赤褐色、白色・赤色、黒色粘土含む	三の丸 G5 17 表土
	5	かわらけ	6.7			在池	白色・赤色、黒色粘土含む、黒色炭灰含む	三の丸 G5 17 盛土層
	6	内瓦土層				在池	白色・赤色、黒色粘土含む	三の丸 G5 17 盛土層
	7	内瓦土層				在池	白色・赤色、黒色粘土含む	三の丸 G5 17 盛土層
	8	内瓦土層	29.6			在池	白色・赤色、黒色粘土含む	三の丸 G5 17 盛土層

調査番号	番号	種類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	材質	出土場所	備考
第 275 区	9	板石	32.2	6.2	4.2	20	蔵屋敷 D6 盛土層	
	10	土	2.1	1.8	1.6	チャート	三の丸	
	11	土	1.8	1.8	1.7	チャート	三の丸 G5 表土	
	12	土	5.8	6.1	4.3	黒色炭灰	三の丸 G5 17	

調査番号	番号	種類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	材質	出土場所	備考
第 275 区	13	土	16.8	16.8	16.8	16.8	三の丸 G5 17 表土	

調査番号	番号	種類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	材質	出土場所	備考
第 275 区	14	土	4.6	4.6	4.6	4.6	三の丸 G5 表土	
	15	土	6.7	6.7	6.7	6.7	蔵屋敷 D6 盛土層	

調査番号	番号	種類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	材質	出土場所	備考
第 275 区	16	土	—	—	—	—	蔵屋敷 D6 盛土層	

調査番号	番号	種類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	材質	出土場所	備考
第 275 区	18	土	—	—	—	—	蔵屋敷 D6 盛土層	
	19	土	—	—	—	—	三の丸 G5 表土	
	20	土	—	—	—	—	三の丸 G5 表土	
	21	土	—	—	—	—	三の丸 G5 17 表土	
	22	土	—	—	—	—	三の丸 G5 17 盛土層	
	23	土	—	—	—	—	三の丸 G5 表土	
	24	土	—	—	—	—	三の丸 G6 表土	
	25	土	—	—	—	—	蔵屋敷 D6 盛土層	
	26	土	—	—	—	—	蔵屋敷 D6 盛土層	
	27	土	—	—	—	—	三の丸 G6 表土	
	28	土	—	—	—	—	三の丸 G6 表土	

調査番号	番号	種類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	材質	出土場所	備考
第 276 区	29	土	5	4.8	1.9	6.6	三の丸 G5 17 表土	
	30	土	4.7	2.6	0.6	黒色炭灰	三の丸 G5 17 盛土層	

調査番号	番号	種類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	材質	出土場所	備考
第 276 区	31	土	15.8	20.2	20.2	20	角形石山山	出土場所

V 調査のまとめと課題

1 はじめに

箕輪城は長野氏が武田信玄の侵襲を幾度となく防いだ城として名高いが、国の史跡としては、長野氏以降の武田・織田・北条・徳川氏時代を含めた形で指定されている。調査の結果、長野氏時代の可能性のある遺構も確認されたが、多くは、盛土層の最上面で確認された城最終時に使われていた遺構になる。こうした盛土層最上面の遺構を築いて、さらにその下層の遺構を調査することは、史跡保存という観点から問題が残る。そのため、調査は基本的に城最終時の遺構を明らかにすることを目的とし、城最終時期の面で確認された遺構の性格を明らかにするために下層の状況を把握する必要がある場合には幅 50cm 前後のトレンチを設定し、必要最低限の掘り下げを行なっている。こうした調査方針は史跡箕輪城跡保存整備委員会の指導のもと、平成 15 年度に策定した『史跡箕輪城跡保存整備基本計画』においても、城最終時期が整備における年代設定の時期としてしている。こうした調査方法から、長野氏時代の箕輪城の様相は断片的な情報でしか明らかになってきてはいるが、遺構保存の観点から城最終時期以上の調査を充分にできなかったことが、史跡の将来的な保存に寄与したともいえる。

さて、城最終時の箕輪城を明らかにすることを目的とした調査であるが、基本的には、城最終時に使われていた遺構ということとは判明したが、構築されたのは、極端にいうと築城時に造られたものが城最終時まで継続して使われていた可能性もある。そこで遺構の構築年代を明らかにすることは整備の対象を決定付ける重要な指標になることから、調査で検出された遺構の構築年代を得るために、最も出土量が多いかわらけの分類を行なうとともに、陶磁器等の年代を加味しながら、遺構の年代を検討していくことになる。

2 かわらけの分類

(1) はじめに

箕輪城出土のかわらけについては、共存する陶磁器及び、ある程度の年代を特定できる層位での遺物出土例は極めて少ない。一部のトレンチでは築城時の面まで掘り下げて調査をしているが、その最下層にあたる面から、完形のかわらけが出土した例は皆無であり、破片についても小破片が極めて多く、その形態をうかがい知ることはできるがほとんどない。また、盛土層は、盛土される以前の遺構を築いて、盛土するため、盛土以前と盛土時のものが混在するため、盛土時の年代を把握することは可能であっても、下層において必ずしも古い時代のものが出土するとは限らない。したがって、箕輪城跡から出土したかわらけのみで、変遷を組み立てるのは極めて困難であり、むしろ、他城跡跡の良好な出土例などを参考にその変遷を組み立てるほうが妥当と考える。なお、県内のかわらけ編年は大江氏、及び木津氏の研究が(大江 1980・1987・木津 1989) 先駆的であるが、年代特定の根拠はかわらけと共存している銭、特に、永楽通宝(初鋳 1408 年)と紀年銘の石塔が基準となっている。西上野に限れば両氏の編年は、現在でも大枠では変わっていないと思われるが、伝世しやすい資料が基準であり、また、型式操作による部分も多いことから、再検討が必要である。特に、その後の調査で、両氏の編年で空白期になっていた 16 世紀後半の事例や銭と比べ年代が狭い陶磁器との共存事例が増加している。このことをふまえ、箕輪城跡出土のかわらけの検討を行なうことにする。

(2) かわらけの分類 (第 277 図)

箕輪城跡から出土する主なかわらけについてその形態が判明しやすい口径約 10cm 以上を対象として分類する。

A 種—白色系胎土で砂粒の混入が少ない。直線的に外傾し口唇部は尖る (14)。
 B 種—白色系胎土、もしくは赤茶褐色胎土。直線的に外傾し口縁部がやや外反する。口唇部はやや尖る。(15)。
 C 種—赤茶褐色胎土で、B 種に比べ、立ち上がりが急で、外面体部下位が極わずかに丸味をもつ。口縁部はやや外反する。口唇部は丸味をもつ。(16)
 D 種—赤褐色胎土で、C 種に比べ、口唇部は面取り気味になる (17)。
 E 種—赤茶褐色胎土で、C 種に比べ、器高が低く、外面体部下位がわずかに丸味をもつ (27)。
 F 種—白色系胎土で、口縁部は外反し、外面体部下位に丸味をもつ。(49)
 G 種—茶褐色胎土で、口縁部は外反し、外面体部下位に丸味をもつ。F 種と比較して器高が低い (74)。

この他、様々な形態が存在するが、極めて煩雑な分類になるため、代表的なものに絞って分類した。これら以外については、適宜以下で記述していく。

さて、以上の分類に基づき、かわらけがどのような出土状況であるかを確認しておく。59 は底部の糸切りを失敗したためか、高台状になっているが、この部分を取り除くと、外面体部下位に丸味をもち、口縁部が外反し、F・G 種と形態が共通する。本丸地区 J6 グリットの SD6 で大窯 3 期後半の初山大皿 (55) と共に伴している。この溝の延長にあたり、同一の溝と判断される K2~K4 グリットの SD2 の石崩落層中や、さらにその延長にあたる西戸口の石崩落層中では、G 種 (72, 73, 74) が出土している。西戸口の石崩落層中は 81 の登窯 3 期の志野皿が最新陶器であるが、これは混入遺物 (後述) と考えられ、他の陶器では大窯 4 期前半の瀬戸美濃の播鉢 (82) が最新になる。また、SD2 の埋土からは、16 世紀最終末 (箕輪町教委 2005) と推定される軟質施釉陶器 (70) が最新陶器である。箕輪城周りで確認されている 17 世紀前半のかわらけは、井出地区遺跡群の 08-IT12 にて、登窯 2~3 期の志野皿と共に伴しているものがある (清水 1999)。この丸の表土から出土しているかわらけ (第 86 図 102) と共通する形態で、厚手で口縁部が内湾するものが特徴であり、F・G 種のかかわりとはヒアタスと認められる。そのため、陶器とかわらけから本丸西戸口から SD2、SD6 に連なる一連の遺構を埋めた時期は大窯 4 期前半~17 世紀前半の間で、17 世紀前半のかわらけとの差異を考えると、廃城時の 16 世紀最終末と想定され 81 の志野皿は混入遺物であろう。したがって、F・G 種のかかわりには 16 世紀末に位置づけられることになる。また、1601 年廃城の箕輪城の 1 号溝において大窯 4 期前半から後半に位置づけられる瀬戸美濃の播鉢と共に伴しているかわらけ (折原 1994) と形態的に共通することからも裏付けられよう。

さて、この F・G 種と共に伴しているかわらけでは、形態が異なるものも出土している。F 種に分類される 53 が出土した本丸 I5 グリットの SK5 では、口縁部がやや外反し、口唇部が面取り気味に調整され、底部が厚い 51 と比べわずかに内湾傾向があり、口唇部は丸い 52 が共に伴している。51 は、形態的には A~D 種に比較的近いがこれほど底部が厚い形態は A~D 種にはない。このことから、F・G 種の時期については、単純に F・G 種だけでなく、他にも様々な形態が存在していたことがうかがえる。別稿 (秋本 2008) (註 1) においても 16 世紀中葉までは北武蔵から西上野のかわらけは極めて斉一性が高く、16 世紀後半以降そうした斉一性が崩れ、バリエーションが増加することを指摘した。箕輪城周では、旧高峰市域北部にある浜川周辺での城跡跡の調査事例が豊富であるが、やはり、16 世紀中葉までの時期は極めて斉一性が強く、バリエーションは認められない。このことから、A~G 種に該当しないような 51・52 のようなかわらけのほとんどは 16 世紀後半から末葉に位置づけられるものと思われる。

さて、A~D 種であるが、これらの年代を表づける良好な資料は箕輪城ではほぼ皆無である。本丸 H4 グリットの 032T の SX2 で青花皿 B1 群 (1)、青磁後花皿 (2)、線描きの緑葉文の青磁碗 (3)、と共に伴した A 種の 4~10 が年代を得るための資料になるかと思われる。ただし、

陶磁器は上記のわずか 3 点のみであり、伝世期間を考慮すると、これら陶磁器の流通年代である 15 世紀後半から 16 世紀初頭の年代にかかわる年代を当てはめるのは極めて危険である。そのため、他の城跡跡の事例を確認しておく。

『鎌倉大草子』に 1457 年に陣を取り立て、『松陰私語』に 1477 年に退陣と記される五十子陣本陣至近の遺跡で、出土する陶磁器が古瀬戸後 IV 期新段階でまともになっている東五十子遺跡 (太田 2002)、『松陰私語』、『続本朝通鑑』に 1497~1505 年の間に置かれた上戸陣本陣とされている河越氏館跡、及び周辺遺跡 (以下上戸陣に省略) (田中 2005) では本書の A 種と共に通ずる形態のみの出土である。

高崎城 XV 遺跡 (大西 2006) では、上層に大窯 3 期までの陶磁器及び、大窯 3 期後半と共に伴しているかわらけと共通する形態のかわらけが破片で出土することから、大窯 3 期後半以降の盛土と想定される土塁がある。そして、その下層にあたる 2 区高台遺構下 (24・25 号遺構) からは、大窯 1 期の丸皿と共に伴して B・C 種と共通する形態のかわらけが出土しているが、同一面における他の遺構で大窯 3 期後半の陶磁器と共に伴しているかわらけとは形態が異なること、東五十子遺跡、上戸陣のかわらけとは形態が異なること、また、伝世期間も考慮すると、大窯 1 期から大窯 2 期で、おそらく大窯 2 期に併行する時期のかわらけである。このかわらけは本書の B 種、もしくは C 種と共通する形態である。

こうした事例から本丸 H4 グリット 032TSX2 における A 種のかかわりには、共に伴している陶磁器とは伝世期間を考慮しなくても矛盾はないか、やはり、15 世紀後半から 16 世紀初頭に位置づけられよう。さらに限定的にいえば、東五十子遺跡と上戸陣とのかかわりの比較において、若干器高の低下傾向が認められる。箕輪城出土の A 種は上戸陣出土のかわらけと器高が共通しており、また、A 種より古い形態が出土していないことを踏まえると箕輪城の築城年代は史料から知られる上戸陣の時期にあたる 15 世紀末~16 世紀初頭に限定される可能性が出てくるが、今後の更なる検討が必要である。なお、A 種と共通する形態のかわらけは、上野国分僧寺・尼寺中間地城の資料 (木津 1986) に代表される土壇墓で線と共に伴している例が西上野では特に多数ある。木津氏は、本書の A 種を口縁部の外反の有無でわけ、時間差と理解しているが、上野国分僧寺・尼寺中間地城においては、両者が共に伴している土壇墓が多く、型式的には確かに口縁部が外反するものは新しくなるが、かわらけ製作時のわずかな差異とも考えられるものであろう。そのため、時間差はほとんどないと考え、特に細分を行なわなかった。

B~D 種についての年代を検討する資料は、箕輪城では単独での出土がほとんどであり、また、形態が共通する西上野から北武蔵においては、上述した高崎城の事例のみに類する資料があまりない形である。今後の資料増加が期待される。ただし、B・C 種のみでまともな東平井正前遺跡 1 号井戸 (石守 1994)。B・C、もしくは、D 種でまともな井出地区遺跡群 8-IT 地下式土坑 (清水 1999) などの一括資料があり、一時期があることは確実であろう。

さて、上述のかわらけの型式分類及び、年代がある程度判明する他城跡の事例を元にして、かわらけの変遷をまとめると箕輪城のかわらけは A 種から G 種に型式変遷することが推測され、A 種は古瀬戸後 IV 期新段階から大窯 1 期前半併行期 (上戸陣廃絶の 1505 年前後まで)。B~D 種は大窯 1 期後半から大窯 2 期、F・G 種は大窯 4 期前半、E 種は型式的に B~D 種と F・G 種の中間形態のため、大窯 3 期併行期におおむね位置づけられよう。

基本的な流れとしては、直線的に外傾し、口唇部が尖るものから (A 種)、体部の立ち上げが急になって外反し、口唇部が丸味を帯びる、あるいは、口唇部が面取り気味になる B~D 種に変遷し、外面体部下位がわずかに丸味をもつ E 種、さらに丸味が強くなる F 種、器高が低くなる G 種という型式変遷である。

本書に掲載した遺物図の編集方針は、一括資料が少ないこともあり、各曲輪の出土遺物の様相が明らかになるような形で行った。そのため、わずかにあった一括資料がやや不明確

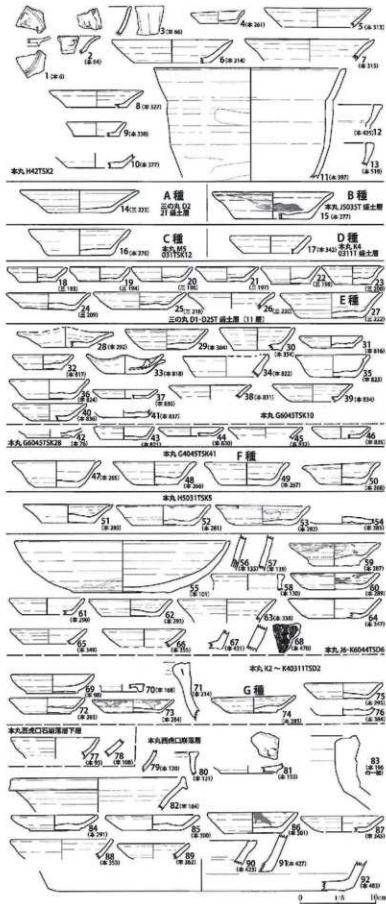
箕輪城関連年表

年代	典拠書に ある時期位置	城主	主なできごと	全国
448(孝寧2)年 449(孝寧3)年				鎌倉公方足利成氏と関東管領上杉氏の争い。関東生駒が戦死。足利朝は河内(実光が河内)を、上杉朝は五十子(吉野・赤松北白河)が本拠。
449(仁治2)年				応仁の乱で会館が陥落。
477(文明9)年				
1500年頃			この頃、長野藩土がその手懸藩城。	
			矢野玄海が富良野辺の山脈を削いで、富良野(地名)を築く(『日本土地抄図説』)。このときで、長野氏、赤松城(地名町)を築城。	
1512(永正19)年			長野藩城、富良野年寺(地名町)に鎌倉を治す(『長生寺文書』)。	
1512(永正19)年			其時富良野(1000)の番所を鎌倉内に寄附する(『鎌倉神生文書』)。	
1523(大永3)年			長野藩が河内郡城上長野藩城を築く(『日本地名文書』)。この年までに矢野城は築城されている。	
1523(寛文元年)			長野藩城、鎌倉神生(地名町)の軍の所引に順じて、並合を出す(『鎌倉神生文書』)。	
1522(天文13)年	1			鎌倉管領上杉朝敏、北条氏に攻められ、平井港を逃げる。
1540(永禄2)年				鎌田信俊、河内川原を破る(鎌田氏の戦い)。鎌田の元兵(赤松・上杉陣)は、北条氏没落のため、河内に結出する。
1540年頃	期		長野藩城を富良野と近するが、この頃から富良野藩の発展しなくなる。	
1566(永禄9)の年			富良野藩城を築き出す。	
1567(永禄10)年			伊豆、寛平寺、信濃に内井山城を築く。矢野城へ諸將と加勢軍を行うように指示する(『富田家文書』)。	信長、赤澤藩の篠原山城を落とす、岐阜城と改め、ここに移る。
1568(永禄13)年			足利朝臣、矢野城に在城、寺子屋に何卒が指示を受ける(『信濃文書』)。	信長、足利朝臣を招いて入京。
1570(元亀元年)			内膳昌房、矢野城に上ったのがはじめて確認される(『北条全史書式文字』『米沢国書館文書』)。	信長、浅井・朝倉連合軍を破る(姉川の戦い)。
1570(元亀元年)			内膳昌房、長祿の戦いで戦死する。	信長・織田連合軍、武田勝頼を破る(美濃の戦い)。
1579(天正7)年	2		内膳昌房、家康に矢野城を伝える(『内膳昌房書状』『平泉氏文書文書』)。	
1582(天正10)年	期		武田氏滅亡、飛田信長重出河川一帯を越える(日月月城)が、すでに北条氏に敗れ、北条氏重三郎長野藩に落ちる。なお、長野は神城(埼玉武蔵野)の城主となる。	本願寺の家より上杉田島長を破る。 家康、豊川原の戦い。この戦いで上杉、上野郡は北条のものとして再び相分断されなくなる。
1583(天正11)年			北条氏滅亡、矢野城に落ち、何故か奇兵に攻め落とす(『鎌倉藩城傳略書』『武州文書』)。	秀吉、飛田藩を討つ(飛田彦の戦い)。
1584(天正12)年				豊後赤松貞治(河内家康)の戦い(小牧・長久手の戦い)。この戦いで豊後、河内郡で豊後・宇喜多勢と北条氏が今般城(豊後大津)などで戦う。その結果、赤松氏(赤川)など北条藩の勢力下に入る。
1584(天正14)年			北条氏滅亡、河内平井水氏に頼り、もって守りてきて、お城を建てようとする(『日本書文書』)。	秀吉、九州を平定する。「関原絶無争」を出す。
1584(天正14)年			北条、北条(多摩河内郡)の河内に落ち、今の村に敗退した戦物を矢野城に預めをよるとする(『信濃文書』)。	
1584(天正14)年			河内・豊・河内藩に敗れ、矢野城には河内・赤松藩の兵がはてで赤松氏を破る。河内、赤松藩の御書状と加勢のめをもちらる(『信濃藩井手文書』)。	徳川秀吉、北条氏を滅ぼし、天下統一する。
1589(天正17)年	3		河内、河内一帯の河内に藩民部など共に討つ(『信濃藩井手文書』)。	秀吉、肥前を遠征城陷城。
1589(天正17)年			河内、江戸守城を命じられ、江戸藩諸藩を勧める(『信濃藩井手文書』)。	秀吉、朝鮮出兵。
1589(天正17)年			河内、河内1万の藩民を河内(『信濃藩井手文書』)。「河内不道藩寄書文書」。	
1589(慶長元年)	期		河内、河内一帯の河内に、河内藩は藩民になる(『信濃文書』)。「河内守」。	豊前秀吉死す。

瀬戸美濃 羅年 (藤澤2002)	主な貿易陶磁 器出現時期 15世紀前半～16世紀初 頃(15世紀末頃、16世紀 前半頃/約1570/16世紀)	かわら け分類
------------------------	---	------------

白磁皿8群

1450～ 後37期 新段階	青花藍B4群 白藍藍C群	A種
1490～	青花藍B1群	
大瀧1期		B・C・ D種
1530～	青花藍B2群 青花藍E群	
大瀧2期		E種
1560～	青花藍B群 青花藍E群	
大瀧3期 前半		F・G種
1570年 代後半		
大瀧3期 後半		
1580～ 1598		
大瀧4期 前半		



第 277 図 かわらけ分類図、及び箕輪城跡出土一括資料

になった点は否めない。そうした点も含め、第277図には、年代的定点になるような遺物が、少なくとも4点以上の出土した遺構の一括資料をまとめて掲載し、合わせて、かわらけの分類と陶磁器の年代を含め、箕輪城の時代的推移に対応できるように心がけた。ただし、共に伴している常滑の炭胴部、及び金製品、石製品は除外している。後述するが、陶磁器の編年研究も含め、箕輪城の何某時代にどのかわけの種類が対応するのまでは、細分が可能でまず現段階では概ねの提示にとどめ、今後のさらなる分析が必要である。

3 遺構

(1) 遺構の年代

上述のかわらけの年代や、編年研究が進んでいる陶磁器の年代をもとに、年代が推測できる遺構について、ふれていくこととする。

陶磁器については、藤澤氏により瀬戸美濃、及び初山、志戸呂産陶器の編年研究が進み(藤澤1991・1997・2002)、極めて精緻な編年体系が完成しつつある。一方、藤澤編年に対して、尾野氏(尾野2004)や松岡氏(松岡2005)から疑義が提示され、特に、尾野氏は藤澤氏とは最大40年以上新しくなる編年案が提示されている。こうした藤澤氏の見解と異なる編年案には、その年代性根拠が藤澤氏の編年と比較すると少ない面は否めず、基本的には藤澤編年が大きく動く可能性は少ないと思われる。群馬県周辺では『松陰私語』に文明元年(1469)築城と記され、天正18年(1590)に廃城とされている太田市の金山城跡の発掘調査(宮田他2002)では、一部の伝世的な陶磁器を除くと古瀬戸Ⅳ期新段階から大窯3期の陶磁器がまとまり、藤澤編年との矛盾は生じていない。また、『鎌倉大草子』に1457年に陣を取り立て、『松陰私語』に文明7年(1477)に退陣と記される五十子陣本陣付近の遺跡とされる本庄市の東五十子遺跡(太田2002)においても量は少ないものの後Ⅳ期新段階までの陶磁器でまとまり、藤澤氏の編年とは矛盾しない。こうしたことから、後Ⅳ期新段階の初現や、大窯3期終末の年代については大きな変動はないことが、群馬県周辺の遺跡でも追認できよう。一方で、築瀬氏は大窯1期の終末の年代などが若干変動する可能性等について千葉県例で指摘している(築瀬2007)。本報告書では、藤澤編年については大枠では変動しないこととされているものの、今後の調査事例の蓄積により、千葉県例のように多少の変動も考えられることを考慮、必要もあるため、できるだけ実年代についてはふれず、型式名を用いてきた。なお、参考までに383頁に藤澤編年の年代をまとめておく。また、以下の記述でもできるだけ型式名を用いることとしたい。

さて、各遺構の年代についてであるが、調査で検出された遺構全てで遺物が出土しているわけではなく、その出土量も多くはない。また、陶磁器の伝世期間も考慮しなければならず、その年代を確定できるのは、極めて少ない状況にある。ここでは、各遺構で出土している最新の陶磁器などを用いて、ある程度の年代が想定可能な遺構についてふれていく。

○三の丸地区

・SV12裏側の盛土層の11層中からE種のかかわけが出土している。この11層が検出された面は、SV12が機能していた時期の地表面と推測され、鍛冶炉が多数検出された面と同一の土である。なお、鍛冶炉が検出されている面直上からは、青花碗E群(第42図38)が検出されている。

・SV3裏側にあたる3Tの盛土層中からは大窯3期後半の初山丸Ⅸ(第43図120)が出土している。なお、出土レベルは、セクションAの7層(第29図)に対応する。

・鉄蒔など大量に廃棄した層にあたる1Tの28層(第16図)では、大窯2期の瀬戸美濃の復土(第43図104)が出土している。

以上のことから、SV12については、E種のかかわけに絡む時期にあたる。SV12機能時の土

と同種の土であることから同時期の可能性が高い鍛冶面についても同様であり、大窯2期以降の時期で、また、青花碗E群の年代に絡む時期の可能性もある。青花碗E群の年代は、中国・四国地方を中心とした事例を検討された柴田氏によると1557年を下限とする大内氏館のSE2以外で少量のE群が出土し、1560年代終わり頃から1580年代に下限のある遺跡でまとまるとのことから、16世紀後半のメルクマルとされる(柴田2001)。これらのことから、SV12及び鍛冶面については16世紀後半の時期が中心になろう。これらの遺構を埋めて、SV3などの現地地表でも確認できる城最終時に使われた石垣が造られるが、3Tの初山丸Ⅸから、大窯3期後半以降の廃城の1598年までの間に築かれたのがSV3になるであろう。なお、SV12及び、鍛冶面の下層には築城時の面と推測される地面面までの間には、明確なビットなどの遺構が認められる層はないため、SV12、鍛冶面の構築時に短期間で盛土がなされ、さらに、SV1・SV3構築時に大量の盛土が行なわれたことになるだろう。

以上をまとめると、

I期＝地山面(かわらけE種、青花碗E群より古い時期)

II期＝SV12、鍛冶面(かわらけE種、青花碗E群を中心とした時期)

III期＝SV1、SV3の構築(大窯3期後半以降1598年以前)

と大きく3時期に分けられる。なお、一部では、II期からIII期中で遺構面がある場所もあったが、出土遺物がほとんどないため、明確な時期は不明である。おそらく、II期からIII期の中で細分が可能となろう。

・二の丸・郭馬出・大堀切地区・木俣地区。

これらの地区では、良好に遺構の年代を確定できる例は極めて少ない。二の丸の1T06グリットの盛土層最下層では、青花皿B1群(第84図1)、瀬戸美濃の大窯2期の丸Ⅸ(第84図31)が2点出土している。盛土の年代を特定するには資料が乏しく、この2点の遺物よりは、盛土時期が新しいことを指摘できるようにする。木俣地区のF7グリットの2TSK2からは大窯4期前半の志戸呂窯擦鉢破片が約半個体分出土している(第137図26)が、この遺構は盛土がないため、この遺構の年代を決定付けるだけで、他の遺構との年代の関係をうかがい知る資料ではない。

・本丸地区

本丸地区では堀の造り替えの状況から少なくとも3時期の変遷が確認される(第288図)。1期目は1号堀・2号堀の時期である。

1号堀は、南西に延長すると06三の丸・蔵屋敷地区の1号堀につながるようになる。北東に延長すると、現地形で確認できる本丸南虎口に向かって本丸東側の法面が凹んでいく場所につながり、また、06三の丸・蔵屋敷地区の1号堀を西に延長すると顕著な堀があり、これらの地形は本丸地区1号堀、06三の丸・蔵屋敷1号堀の名残ともいえる。そして、このラインは大堀切と併行しており、1期の時点で大堀切があった可能性も想定できる。

なお、この本丸地区1・2号堀土からは出土遺物が皆無で、06三の丸・蔵屋敷地区1号堀からも年代が判明するような遺物は、白磁ⅢC1群が1点のみの出土であった。

II期目は、3号堀が掘られ、本丸堀と呼称されている本丸の南東側から西側をめぐる堀が掘られ、1号堀・2号堀、06三の丸・蔵屋敷地区1号堀が埋められる時期である。これらの堀土は共に、地山を深く掘削しないとし生じない白色系の火砕降土が主体であった。本丸地区の堀土は比較的水平に堆積している場合が多かったが、06三の丸・蔵屋敷地区では、南東側から埋められており、本丸堀と呼称されている本丸南東側から西側に巡る堀掘削土を埋めたものとの第四章において推測している。

なお、3号堀の堀土からは、少量の出土遺物があり、青花皿E群(第205図26)が出土し、かわらけは図示できたのがほとんどないが、D種(第214図342と同種)やC種(第214図337)が出土し、E・F・G種の出土はない。第205図26の青花皿E群は、口縁部内面に四方棒

文があり、体部外面にも文様が描かれている。小野正敏氏のE群XI（小野1982）に相当し、柴田氏はE1群としている（柴田2001）。青花皿E群は16世紀後半のメルクマールとされてきたが、このE1群は16世紀中葉に出現することが中国・西国地方を中心とした事例から柴田氏は明らかにしている（柴田2001）。このことを踏まえると、かわらけと、青花皿E1群の出土から、16世紀中葉から後半以降に埋土した可能性が考えられる。

Ⅲ期目は、本丸・御前曲輪間堀が掘られ、3号堀が埋められる時期で、現在見られる縄張りになった時期である。3号堀埋土はローム→黒色土が主体で、白色系の火砕流土はほとんど認められていない。このことから、比較的地上部の掘削土によって埋めたことがかえ、御前曲輪部分の掘削土、もしくは、比較的浅い堀であった本丸・御前曲輪間の堀で掘削土によって埋め戻されたものであろう。また、本丸・御前曲輪間の堀の位置は、2号堀・3号堀があった時期に存在した可能性は、そのプランから極めて可能性が低く、やはり、この3期に掘られた堀になるだろう。

なお、本丸・御前曲輪間の堀では出土遺物が皆無である。

以上のことをまとめると、本丸地区の堀の時期は、大きく以下のように想定される。

I期＝1号堀・2号堀の時期（Ⅱ期以前）。

Ⅱ期＝1・2号堀が埋められ、3号堀が掘り直される。南虎口の1期目が造られる（かわらけC・D種、青花皿E1群の時期、もしくは、それ以降）。

Ⅲ期＝3号堀が埋められ、北虎口が造られる（かわらけC・D種、青花皿E1群の時期以降）。

極めて少量の遺物しか出土していないため、大枠での変遷がつかめないが、遺構、及び、盛土層から出土した遺物も含めて検討すると、もう少し具体的な年代が与えられる。以下、遺構や盛土層から出土した遺物について検討していく。

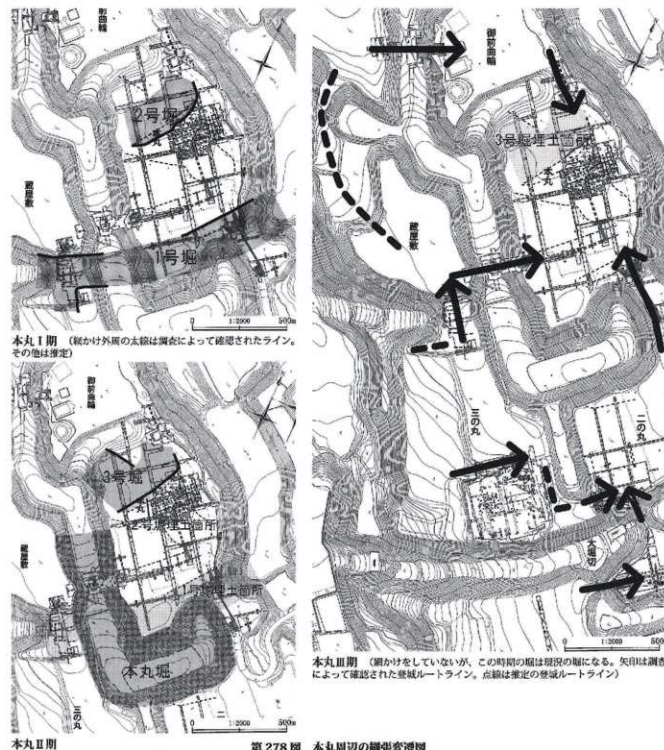
前述したが、一連の遺構であるJ6グリットのSD6、K2～K4グリットのSD2、西虎口をそれぞれ埋めた土や石崩落層中からは、軟質施軸陶器（第207図168）、初山大皿（第206図101）、大窯4期前半の瀬戸美濃の播鉢（第207図184）が出土し、かわらけはF・G種が目立つ。また、これらの溝の裏側の盛土層にあたるL3グリット049Tの盛土層で、小田原の手づくねかわらけ（第214図306）が出土している。また、M3グリットの048Tにおいて、大窯4期前半の播鉢（第207図180）が出土している。M3グリットの048Tで確認された上幅6.55mをはかる巨大な落ち込みによって切られているため、第214図306が出土した盛土層と一連の盛土であるかが微妙な部分もあるが、遺構面的には、M4グリットの048TのSV8構築面とSD2が構築された面との間の層のため、同じ盛土と考えられる。

小田原の手づくねかわらけは、小田原では北条氏滅亡と共になくなり、また、北条氏の拠点城館でしか出土していない（服部1999）。また、器壁が厚く、天正年間後半に想定されている服部氏のⅡb期の特徴を備えている。このことを踏まえると箕輪城の北条氏時代の1582年から1590年に搬入された遺物になり、1582年の北条氏入城以降に盛土され、溝が構築されたと考えられる。さらには、完形ではなく、破片であることを踏まえると、盛土の際に供献されたようなものではなく、むしろ、盛土中に「ゴミ」として混じった可能性が考えられる。このように考えた場合、1582年の北条氏入城時ではなく、入城後少なくとも、手づくねかわらけを1度使用した後に構築されたと考えの方が自然であろう。また、手づくねかわらけと同じ一連の盛土の可能性が考えられた第207図184は鎌骨堀が大窯4期前半の播鉢の中でも長く、極めて大窯3期後半の播鉢に近い形態をしている。大窯4期前半は八王子城跡跡主殿の調査（戸井他2002）で天正18年に廃絶された陶磁器群にないため、天正18年以降とされている（藤澤2002）。播鉢の形態が大窯3期後半に極めて近似することも考慮すると、SD2及びSD2が続いている西虎口の構築は、最大にみて、文書史料に残る北条氏時代の天正15年の普請よりは古くならないといえるだろう。

こうしたことを前提にすると、本丸周辺の堀の時期変遷ももう少し具体的な年代が与えら

門種別	門検出地点	m換算前行	備考	m換算後行	備考
2類	本丸北虎口	5.36		3.28	
	郭西門西虎口	5.80		3.45	
	御前曲輪西虎口	3.10		3.10	
2類平均値		4.75		3.28	
1類	本丸西虎口	2.87		1.48	
	本丸南虎口	2.57		2.70	※ 2.7m以下
	二の丸西虎口	2.80		3.20	
1類平均値		2.75		2.46	
門合計平均値		3.75		2.87	

箕輪城跡検出門跡データ



第278図 本丸周辺の縄張り変遷図

れることになる。第278図のⅠ期の図の堀想定ラインが正しいとすれば、通常堀を渡った場所に造られる虎口は、現西虎口の位置にはないことになる。現西虎口の位置に造られるのは、Ⅱ期の本丸堀が造られてからになる。したがって、検討した西虎口の年代から、Ⅱ期の縄張りになったのは、天正15年以降といえるであろう。一番古い天正15年とした場合、北条氏が在城した天正18年までの3年間で2度の造り替えが行なわれたとは考えにくく、Ⅲ期は天正18年～慶長3年の井伊直政期と考えられよう。また、Ⅱ期は大塚4期前半の年代から、天正18年から廃城の慶長3年とした場合、Ⅱ期と、Ⅲ期が井伊直政期になる。いずれにしても、Ⅲ期が井伊直政期であることは、数少ない出土遺物の検討ではあるが推測できる。

さて、出土遺物からSD2は廃城時に埋められた遺構と想定したが、逆に言えば、廃城時までは使われたということになる。この溝は、クランクしてSD6となり、さらに本丸中央部で検出されたSD7につながることを第IV章内で指摘している。本丸中央部で確認されたSD7と軸を同じくしている礎石建物の基礎と考えられるS1～S47は、SD2との関係から少なくとも城最終時に使用されていた可能性が高いであろう。

この他、出土遺物からは不明であるが、盛土層中に確認された石畳のSX4はSD6に切られており、それより古い時期の遺構である。ただし、地山に若干の盛土がされている場所もあり、地山面の時期よりは新しい遺構になる。また、SX4と対応する面に鍛冶炉と推測される炉がI3・J3グリッドの049Tで確認されている。これらの鍛冶炉、SX4は、Ⅱ期以降のSD6以前の遺構のためⅠ期になるが、地山面で確認されている遺構もあるため、Ⅰ期がさらに細分化されることになる。こうした例や盛土層中から掘り込まれたビッドがあった場所もあり、さらに細分化が可能である。ただし、各トレンチ間のわずかに50cm幅のベルトにあって、ベルトを挟んだ部分の層序が異なることもあり、盛土層中で確認された面を調査区全面で追っていないため、不確実な面が残っている。そのため、堀から推測したⅢ時期区分をさらに細分化することは控え、細分化が可能であるという指摘にとどめておく。

・御前曲輪、通仲曲輪、06三の丸・蔵屋敷地区

これらの地区では、明確に遺構を決定付けられる遺物の出土状況はない。ただし、御前曲輪西虎口で溝に使われている石塔には天文22年(1553)の銘を有するものがあり、この虎口がこの年代より後に造られていることがわかる。

(2) 門の分類

9箇所の虎口を調査してきた。その内、本丸西虎口、本丸南虎口、本丸北虎口、二の丸西虎口、郭馬出西虎口、御前曲輪西虎口では良好に残存し、その規模が明確である。387頁にその規模をまとめている。

これらの門は大きく2分類される。

1類は、

・石畳を有し、造り替えが認められる門。

2類は

・石畳が無く、門両脇に石列を有し、造り替えが認められない門である。

以上の門では全て、盛土層の最上面で確認され、造り替えが認められる1類の門も城の最終時には使用されていたことがうかがえる。

なお、1類にあたる本丸北虎口の門は、井伊直政期の可能性が高いことを本丸地区の検討の中で述べたが、このことをもとにすると1類は井伊直政期に新たに構築された門ということになる。また、2類の門である本丸西虎口の門は最大限古くみて天正15年と推測した。このことをもととする他の門についても同様の年代が与えられる。

各虎口共に廃城後に周囲の石垣に使われていたと思われる大量の石によって、完全に封鎖されているのが特徴である。この崩されたことによってか、あるいは、元々ほとんど石垣が無かったのかは不明であるが、門両脇の石垣が良好に残っている例はほとんど無い。また、

門機能時の面のほぼ直上から石が廃棄されている例が多く、門廃絶と石垣が崩される時期との時間差は長期間ではないと想定されるが、門の雨落ち溝中には崩された石が出土しておらず、郭馬出西虎口や御前曲輪西虎口の溝は流水によると思われる砂の堆積が認められる例があり、門廃絶後溝が埋まり切った後に石垣が崩れていることになる。本丸西虎口の石垣崩落層から、大塚4期前半の瀬戸美濃の掘削及びF・G種のかわけが出土していることから、この虎口については、廃城時に廃棄された可能性が高いが、他の虎口については明確な時期決定をできるような遺物の出土はない。廃城と共に石垣が崩されたのか、それとも、やや時間差があつてから廃棄されたのかは明確にはできないであろう。したがって、破破りといわれる明確な破城があったのかは慎重に検討する必要がある。

(3) 石垣の分類

箕輪城跡で検出された石垣については、大きく2分類できる。

1類は

・人一人では運べない長軸で50cm以下程度の石を用いる。

・石の平らな面を石垣表面に用いる意識が低いのか、石垣の表面に凹凸が目立つ。

・ほぼ垂直に積まれる。

・最大高で1.45m。

・土間に高さ50cm程度で階段状に積まれることが多い。

2類は

・人一人では運べないサイズ(長軸50cm以上)の石を用いる。

・最大高で4.1m

・高さ約1.4m以上ある場合、78度程度の傾斜を持つ。

・一部の石垣では長軸1m前後の鏡石が用いられる。

以上のよう特徴の石垣に分類できる。

1類は三の丸SV12・SV13が最も特徴的であり、2類は三の丸SV1・SV3に代表される。

1類は前述したが、三の丸地区の調査事例では16世紀後葉が中心になり、2類は大塚3期後半以降から廃城の1598年までの間に築かれた石垣である。こうした積み方が石垣の時期変遷を示すとすれば、二の丸のSV5、郭馬出のSV3は1類の積み方であり、また、層位にもこれらの石垣を埋めて新たな石垣が築かれていることから、三の丸の事例と同様な年代で与えられるであろう。同じく、二の丸SV1とSV1に向き合うSV4については2類の積み方で三の丸SV1・SV3と同様な年代が与えられる。この他、御前曲輪西堀地区のSV1・SV2、郭馬出地区SV1は2類に分類できる。

本丸地区の石垣は高い石垣が確認されていないことと、石塔が用いられる例も多く、その特徴が捉えにくく、1類か2類かは判別しづらい。例えば、本丸南虎口で主に検出されたSV7は階段状に積まれているが、使われる石の大きさは2類の大きさに近い。また、本丸西虎口のSV5は石塔が多数に使われているため、1・2類に分類できないなどである。

さて、1・2類の年代であるが、門の分類等も合わせて考えると、さらに年代が絞れるであろう。1類の門が検出されている二の丸西虎口では、1類の石垣を土で覆った形で2類の石垣が築かれ、対応するように門の造り替えがなされている。このことから、1類の石垣と1類の門の構築時期が同じ時期の可能性が考えられ、また、2類の石垣と2類の門の構築時期も同じ時期という可能性が出てくる。したがって、石垣、門それぞれの構築年代は、1類が本丸地区のⅡ期、2類が本丸地区のⅢ期に相当する時期ととらえられよう。

なお、1類の石垣と、積み方や規模などからほぼ一致するような石垣が鉢形城跡の発掘調査で確認されている(石塚 2006)。鉢形城跡は箕輪城城主を兼任していた北条氏邦の本拠である。検出された石垣の裏からは大塚3期の陶器が出土し、鉢形城跡の石垣のほとんどは北条氏邦期に築かれたものになるであろう。城周辺で採取できる石が箕輪城と鉢形城とは異

なるため、石材は異なるが、その積み方の共通性は注目される。

(4) 箕輪城の変遷

箕輪城は長野氏が永禄9年(1566)まで、武田氏が永禄9年(1566)から天正10年(1582)まで、織田氏が天正10年の1ヶ月弱、北条氏が天正10年(1582)から天正18年(1590)まで、徳川氏が天正18年から慶長3年(1598)と城主が度々変わった城である。こうした城主の交代の度に城の造り替えがなされたことは容易に想定できる。事実、史料上からも、永禄10年(1567)、天正15年(1586)、天正18年(1590)の武田氏、北条氏、徳川氏時代のそれぞれの時代で普請が命じられている。一方、こうした史料に残らない普請も想定でき、特に、長野氏時代は4代、もしくは、3代にわたっての支配が続いたため、代が変わるごとの普請があってもおかしくはないであろう。

こうした造り替えは発掘調査においても確認されたが、一部の遺構はある程度までは特定されたが、基本的には各氏時代の細かな変遷は把握できていない。遺物の編年は陶磁器の細分化は進んでいるが、箕輪城の存続する時代と編年研究における時代区分とが一致していないためである。例えば、大窯3期前半は1560年頃から1575年頃と想定されているが、この時期にあたるのは箕輪城の長野氏時代最終時期から武田氏時代を含んでいる。また、大窯3期後半は武田氏時代と北条氏時代にまたがる。こうしたことから、現段階で考えられる各氏時代の「頃」の箕輪城の姿について、今まで検討したことをもとに想定することとする。

なお、本丸地区での3期の変遷と三の丸地区での3期の変遷は、厳密な意味での対応関係はないが、本丸地区の変遷をもとに、各分類の石垣・門が分類ごとに同じ時期に構築されたとするならば、他の曲輪で確認されている各分類に比定される石垣、門などの遺構ともある程度の時間軸をもって確認できるようになるが、他の曲輪での遺構については、出土遺物からではなく、こうした遺構の分類に基づいた時間軸になる。

なお、以下の時期設定は本丸地区のアラビア数字による変遷に基づくが、箕輪城全体の変遷のため、区別して算用数字にて表記する。

1期(本丸地区1期、三の丸地区1期)

少なくとも築城時から、16世紀中葉から後葉の時期までである。三の丸地区の例から、かわらけE種の時期以前になる。→長野氏から武田氏の頃

地山面で確認される柱穴などを主体とした時期で、石組み溝や石垣などの石を使った遺構はない(ただし、本丸地区のSX4は可能性を残す)。本丸周辺では現在の縄張りとは全く異なる1号堀・2号堀の時期。

2期(本丸地区II期、三の丸地区II期)

三の丸地区の例からかわらけE種、青花磁E群を中心とした時期。本丸地区の例から小田原の手づねかわらけの時期を中心とした時期。→武田氏から北条氏時代の頃

1類の石垣の時期。三の丸・二の丸・郭馬出では大堀切など現状の堀と1類の石垣が併行しているため、この曲輪周辺の縄張りですでにこの時期、あるいは、本丸地区1号堀と大堀切は概ね平行していることから、この時期以前に完成していたものと推測される。

本丸西虎口などの例から、1類の門もこの時期からになる。三の丸では大規模な鍛冶・鋳造が行なわれる。

3期(本丸地区III期、三の丸地区III期)

三の丸地区の例から、大窯3期後半以降、本丸地区の例から大窯4期前半以降で廃城まで、かわらけF・G種→徳川氏時代の頃

本丸での縄張りが現状の縄張りと同じになり、本丸北虎口の例から2類の門が築かれる。三の丸の例から2類の石垣も造られる。三の丸・二の丸・郭馬出の2類の石垣は1類の石垣を埋めて新たに造られた石垣であるが、1類の石垣と併行しており、本丸を除き、縄張り自体の大きな変更はない。

さて、石垣の編年については北垣氏などの研究(北垣1987、宮武2000、堀口2002)が進んでいる。それらの研究によると、天正末から文禄期の石垣は鏡石の採用や垣の採用などが特徴であり、3期の石垣についてはその特徴を有している。また、関東地方の石垣を積極的に研究している斎藤慎一氏の研究においても本書の1類の石垣を北条期、2類を井伊期の石垣として取り上げられている(斎藤2002、2003)。こうした研究をもとに各石垣の年代を当てはめていくことは容易であるが、考古学的な部分で整理しておく必要性から検討してきた。図らずも、3期の遺構については、1590年から1598年の井伊直政期に限定される可能性を示したことが、こうした石垣の研究とも合致する結果になっている。

4 今後の箕輪城跡

城最終時の3期の姿は、発掘調査で確認されている間が原の戦い以前の城郭では、秀吉が築城した石垣山城を除くと同東最大規模に高さ4.1mの三の丸SV3、幅5.8mの郭馬出西虎口の門など、家康家臣中最大石高12万石で城主になった井伊直政に相応しい城へ造り変えられたことが推測された。また、本丸を中心に大規模な造り替えを行なって、現在の箕輪城になっていることなど、発掘調査を通して多くの成果が上がった。

さて、箕輪城跡の保存整備事業は、今報告書刊行をもって、次の段階へ移行することになる。平成20・21年度は『史跡箕輪城跡保存整備基本設計』の策定を行い、平成22年度に『史跡箕輪城跡保存整備実施設計』の策定、平成23年度から6年間かけての整備工事というのが、現段階での計画である。こうした整備工事は、発掘調査を行ってきた短期整備計画ゾーンを中心に進められる。発掘調査においては、城最終時にあたる3期の遺構を主に調査し、良好に遺存する門跡、石垣、石組溝、あるいは、大規模な城の造り替えの状況が明らかになった。こうした調査成果を生かした上で、今後の整備計画の具体化、整備工事に繋がっていくことになる。一方で、長期整備計画の中では、こうした遺構整備を行うゾーンとは別に、樹木の間伐等を進めていく必要性がうたわれており、恒久的な保存管理体制を確立していくことも重要な課題になるだろう。

5 おわりに

以上をもって、最低限のまとめとするが、本報告書作成にあたり出土遺物の組成を明らかにするために、各遺物の数値化作業を進めてきた。不掲載になった遺物を含めて、出土遺物の組成を明らかにすることは、小野正敏氏が中心になり多くの成果をあげてきている(小野・藤澤2005)。中世遺跡の場合、そうした整理作業が必須作業ともいえるが、残念ながらそうした組成比については、本報告書には掲載できなかった(註2)。こうしたことや多くのご教示を頂きながら、それらを生かすことができなかったことなど多くの課題と反省を残しているが、今後、何らかの形でそうした成果を公表していくこととする。

〔註1〕別稿において、上野→北武蔵の戦国期のかわらけの変遷を検討している。本書と別稿との対応関係であるが、A種は別稿のA類2・3群、B～D種はA類4群、E・F種はB2群に概ね対応する。また、別稿においても、変遷の年代根拠についてふれている。

〔註2〕陶磁器については、392頁・393頁に集計し掲載した。合わせて参照されたい。

〔追記〕

取稿後、藤澤氏の最新研究を入手した(藤澤良祐2008『中世堀戸窯の研究』高志書院)。大窯1期の開始時期が、伊豆の国市飯盛御所跡の出土状況から、新しくなることを示唆している。合わせて参照されたい。

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

箕輪城跡出土瀬戸美濃集計表①

[illegible][illegible]

箕輪城跡出土瀬戸美濃集計表②、初山・志戸呂、貿易陶磁集計表（貿易陶磁の分類が不明なものは、0.5点として集計）

参考・引用文献

- 秋本太郎 2005『井伊直政殿様時の箕輪城』『高崎藩の考古学』かみつけの里博物館
- 秋本太郎 2008『戦国期北関東のかわかけ―戦国大名支配との関連―』『中世東国の世界』3　高志書院（5月刊行予定）
- 浅倉直典 1997『後北条領国の地域的展開』岩田書院
- 飯森康広 1999『室町・戦国期における上野国箕輪の変遷』『和田山天神前道跡』（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団 第254集　群馬県教育委員会、(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団・日本鉄道建設公団
- 池田光雄 1987『箕輪城』『図説中世城郭事典』第一巻　新人物往來社
- 石塚三夫 2006『史跡群馬城跡』史跡群馬城跡調査報告第3集　群馬県教育委員会
- 石守　晃 1994『飛羽の登陸・東平井塚岡遺跡・東平井宮正前道跡・東平井土井下遺跡・西平井久保代道跡』（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団図録調査報告書第174集　財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
- 中村高男 1989『関東における埴川頼国の形成と上野支配の特質』『群馬県史研究』第30号
- 宇高良祐 1988『安房氏の御旗海城と関東管領上杉家政の越後落ち』『埼玉県史研究』第22号　埼玉県
- 太田博之 2002『東五十子・川原町』東五十子遺跡調査会
- 大江正行 1980『群馬県と周辺地域の中世土師質土器Ⅰ―近年の出土例を中心に―』『群馬考古通信』第7号　群馬県考古学談話会
- 大江正行 1987『軟質陶器・土師質土器』『下東西遺跡』―問題自動車道(新編給)地域埋蔵文化財発見調査報告書第16集―群馬県教育委員会、(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
- 大阪市文化財協会 1988『大阪城跡Ⅲ』
- 大沼雅広 2006『高崎城 XV 遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書第369集　国土交通省・財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
- 尾野善勝 2004『15・16世紀における流通・海運の変革―東海地方海津路跡の検討―』『国立歴史民俗博物館研究報告』第113集　国立歴史民俗博物館
- 小野正敏 1982『15、16世紀の染付絵、皿の分類とその年代』『貿易陶磁研究』No.2　日本貿易陶磁研究会
- 小野正敏 1997『戦国城下町の考古学』講談社
- 小野正敏・藤澤良祐 2005『中世の伊豆・駿河・遠江』高志書院
- 新原研一他 1994『宮崎城』宮崎城遺跡調査会・宮崎市教育委員会
- 川合　功 1994『箕輪城山麓文遺跡第一次』『昭和39・40年度における発掘調査』群馬大学教育学部史学・尾崎研究所研究報告第3輯　群馬大学教育学部史学・尾崎研究室
- 川田貴夫 1962『徳川家康の関東転封に関する諸問題』『書誌部紀要』第14号　宮内庁書陵部
- 北垣聰一郎 1987『石垣書譜』法政大学出版局
- 木津博樹 1986『鎌倉時代以降』『上野国分僧寺・尼寺中間地域』―問題自動車道(新編給)地域埋蔵文化財発見調査報告書第12集―群馬県教育委員会、(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
- 木津博樹 1989『上野国に於ける在地生産土器について―上野国分僧寺・尼寺中間地域を中心にして―』『中近世土器の基礎研究』V　日本中世土器研究会
- 久保田順一 2006『室町・戦国期上野の地域社会』岩田書院
- 奥岡　浩他 2005『川越城跡Ⅱ』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第300集　(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
- 奥野　修 1993『武田氏の上野実業城跡』『群馬文化』233　群馬県地域文化研究協議会
- 黒田基樹 1997『戦国大名と外様領主』文芸出版
- 黒田基樹 2001『戦国期東国の大名と国衆』岩田書院
- 近藤義雄 1986『箕輪城と長野氏』上毛新聞社
- 近藤義雄 1990『箕輪城の歴史』『史跡箕輪城跡保存管理計画書』箕輪町
- 近藤義雄・山崎　一他 1982『箕輪城跡』箕輪町教育委員会
- 斎藤慎一 2002『中世東国の領域と城郭』吉川弘文館
- 斎藤慎一 2003『関東・山梨における畿東期城郭研究. 10年の現状と課題―東国戦国大名から鎌倉大名への所転と継承―』『鎌倉城跡』第10号　鎌倉期城郭研究会
- 斎藤慎一 2005『戦国時代の城郭』中央公論新社
- 佐藤　茂 2004『大坂周辺における軟質施釉陶器の生産と流通』『軟質施釉陶器の成立と展開　研究会資料集』関西陶磁研究会
- 沢口　素 1990『箕輪城付近の地形・地質』『史跡箕輪城跡保存管理計画書』箕輪町
- 柴田圭子 2001『16世紀中葉の輸入陶磁器の再評価―中国・四国地方の道跡を中心に―』『中世土器研究論集』中世土器研究会

- 柴田俊六 1990『武田氏の関東進路と西上野支配』『戦国期東国史会論』吉川弘文館
- 清水　豊 1999『井手地区遺跡群』群馬町埋蔵文化財調査報告第52集　群馬町教育委員会
- 高崎市 1996『新編高崎市史』資料編3　中世Ⅰ
- 高崎市 2000『新編高崎市史』通史編2　中世Ⅱ
- 高崎市教育委員会 2006・2007『史跡箕輪城跡』VI・VII
- 高橋啓祐 2001『肥前名護国城　天下人秀吉の夢の跡』『城跡りの考古学』吉川弘文館
- 高橋浩昭 2000『和田氏の発掘』『新編高崎市史』通史編2中世　高崎市
- 田中　信 2005『「山上杉氏の土器（かわかけ）」とは』『戦国の城』高志書院
- 戸井敬文他 2002『八王子城跡御主殿』八王子城跡Ⅳ　八王子城跡御主殿発掘調査報告書　八王子市教育委員会
- 時枝　彦 2002『城下町高崎の都市プラン』『マツの生活と民俗の変化・商店・職人・町並み・生活-』高崎市史民俗調査報告書第八集　高崎市
- 中野敏久 1994『赤羽・中野「生産地における編年について」』『中世常陸清涼をめぐって』資料集』日本福祉大学加多平島総合研究所
- 服部敬史 1996『東国における15・16世紀の土師器皿様相』『八王子の歴史と文化』第9号　八王子市郷土資料館
- 服部治則 1976『内藤大和守昌月』『山梨大学教育学部研究報告』第27號　山梨大学
- 服部治則 1989『内藤修理亮とその系譜』『甲斐の成立と地方的展開』丸川書店
- 服部実美 1999『戦国都市小田原と北条領領土の土師質土器』『中近世土器の基礎研究』XIV　日本中世土器研究会
- 原　真志 2009『一横地氏関連遺跡群と周辺領領の特徵について』『横地城跡　総合調査報告書』静岡県瀬川町教育委員会
- 平野明夫 2007『関東領有期他川氏家臣と豊臣政権』『中世東国の政治構造』中世東国論上　岩田書院
- 坂島武雄 1929『箕輪城考』上毛博史研究会
- 飯田千鶴 2001『徳川の平和と城破り』『城跡りの考古学』吉川弘文館
- 藤澤良祐 1991『瀬戸古窯址群Ⅱ―古瀬戸後期様式の編年―』『瀬戸市歴史民俗資料館研究紀要』X　瀬戸市歴史民俗資料館
- 藤澤良祐 1997『中世瀬戸窯の動態』『財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター研究紀要』第5輯　財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター
- 藤澤良祐 1998『瀬戸市史』陶磁史篇 6　瀬戸市
- 藤澤良祐 2000『遠江出土の瀬戸美濃焼』『横地城跡　総合調査報告書』資料編　群馬県川町教育委員会
- 藤澤良祐 2002『瀬戸・美濃大窯編年の再検討』『財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター研究紀要』第10輯　財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター
- 堀口健夫 2002『城郭石垣の様式と編年―近畿地方の寛永期までの事例を中心に―』『新視点中世城郭研究論集』新人物往來社
- 松岡　道 2005『「杉山城問題」によせて』『戦国の城』高志書院
- 箕輪町 1975『箕輪町誌』
- 箕輪町教育委員会 2000～2003・2005『史跡箕輪城跡』I～V
- 峰岸洋祐 1999『箕輪城跡―三つ巴の争奪のかの美野氏―』『群馬県歴史博物館紀要』第20号　群馬県歴史博物館
- 峰岸洋祐 2001『中世災害・戦乱の社会史』吉川弘文館
- 松本慎二 2001『原城　高原の乱と城破り』『城跡りの考古学』吉川弘文館
- 宮武正彦 2000『城出土遺物（主に石垣）から見た原城跡』『原城発掘』新人物往來社
- 宮田　敬他『史跡山崎城跡発掘報告書　発掘調査編』大田市教育委員会
- 築瀬将一 2007『箕輪谷城跡出土遺物の歴史的位置』『中世東国の政治構造』中世東国論上　岩田書院
- 八巻孝夫 1991『箕輪城』『中世城郭研究』第5号　中世城郭研究会
- 山田邦明 2002『戦国のコミュニケーション』吉川弘文館
- 山崎　一 1978『群馬県古城址地の研究』下巻　群馬県文化事業委員会
- 山崎　一他 1988『西群馬の中世城跡群』群馬県の中世城跡群』群馬県教育委員会
- 山崎　一 1990『箕輪城の遺構』『史跡箕輪城跡保存管理計画書』箕輪町

報告書抄録

ふりがな	しせきみのわじょうあと						
書名	史跡箕輪城跡Ⅶ						
副書名	史跡箕輪城跡内容確認調査報告						
シリーズ	高崎市文化財調査報告、史跡箕輪城跡調査報告						
巻次	第229集、第8集						
編著者	秋本太郎、星野守弘						
編集機関	高崎市教育委員会						
所在地	〒370-8501 群馬県高崎市高松町35番地1						
発行年月	2008年3月31日						
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード 市町村 道路	北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積	調査原因
箕輪城跡 （史跡指定）	高崎市高松町 西明屋字城山 896 他	102020	36 ° 23' 59"	138° 57' 23"	19990120 ~ 20070331	延べ7,509 m ²	史跡整備 (遺跡内容 確認)
所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項	
箕輪城跡	城館跡	縄文 弥生 古墳 戦国	門、石垣、建物、 溝、堀、柱穴、 土坑、鍛冶炉、 櫓列、		縄文土器 弥生土器 埴輪、須恵器 陶磁器、かわらけ、石製品、 金属製品、鍛冶・鋳造遺物、 石塔	多数の遺構が検出され、 特に、16世紀末の箕輪 城の状況が明らかにな ると共に、築城時から の縄張の変遷が明らか になった。	

高崎市文化財調査報告書第229集
史跡箕輪城跡調査報告 第8集

史跡箕輪城跡Ⅶ
(本文編)
史跡箕輪城跡内容確認調査報告書

印刷・発行 平成20年3月31日

発行 高崎市教育委員会
〒370-8501
群馬県高崎市高松町35番地1

印刷 野島印刷株式会社
群馬県高崎市八千代町4-8-14